



会報

発行年月日 平成29年 5月 1日
発行人 会長 川原善次郎
編集者 黒沢 純一
金子 智久
横塚 秀樹

日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川 2-12-4
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題字 山内 貞史郎
<http://www.shiatsu-obog.com/>

一期一会の二押し

日本指圧専門学校同窓会会長

川原 善次郎



東北大震災の年の同窓会総会から八代目同窓会会長として始まりました。

役員の皆様にも助けられて二期務めさせていただきました。六年間の間には、多くの皆様に助けて頂きました。特に学校の教員先生方には本当にお世話になりました。また新校舎の竣工も大きな事業でした。多くの同窓会の皆様にもご協力も頂き有難う御座いました。東北の震災の復興もまだまだですが、次々と各地でも災害が発生します。各地の同窓生の皆様の安全をお祈り致します。

東京オリンピック、パラリンピックも二〇二〇年に決まり、あと三年です、私たちも何らかの形で参加したいものです。

いま世界中で「指圧」がブームです。これは浪越徳治郎先生のおかげです。日本ではまだ危険な手技療法をしている人もいますが、ヨーロッパでは危険な手技療法より指圧が最高と指圧師が沢山養成されています。我々指圧師はまだまだ患者さんの痛みを楽に出来る技術を身につけなければなりません。指圧師にしか出来ないことが沢山あります。私も今年はスペインの小野田茂先生に招かれ、ヨーロッパ浪越指圧セミナーへ講師として行って来ました。ヨーロッパ九カ国から八十人以上の指圧師が集り、二日間勉強会をして来ました。ヨーロッパの人たちは浪越指圧の基本指圧を忠実に指圧していま

した。特に腹部の指圧は喜ばれました。質問も沢山受けました。同窓会の指圧研修会も学校をお借りして年二回が定着してきました。皆さんの事例発表とか体験発表と先輩からのアドバイスなどで今後も続けて欲しいと思います。同窓会総会の参加者がなかなか増えませんが、運営委員の先生にも頑張ってもらっています。何かいい方法がありましたらご指導をお願い致します。でも懇親会は新入会員の歓迎会を兼ねるため、参加者は増えてきています。同窓会の総会に参加してお互いの情報交換と親交を深めましょう。

次期会長には五十期の岩本健一先生にお願ひしました。どうぞこれからも同窓会活動にご協力お願ひ致します。長い間、本当に有難う御座いました。



日本指圧専門学校
同窓会のロゴマークです。
デザイン：鈴木啓太(49期)

平成28年度 通常総会が開催されました

日本指圧専門学校同窓会の平成28年度通常総会が、平成28年6月12日(日)飯田橋のホテルメトロポリタンにて開催されました。

出席者は在校生も含め約140名、定刻14時を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

藤田一彦幹事長の司会のもと、君が代斉唱、川原善次郎会長の挨拶と続き、石塚寛名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は、①平成27年度事業報告及び決算報告、監査報告、②平成28年度事業計画案及び予算案について行われ、予定時刻をオーバーする数々の質疑応答の後、全員の拍手により承認されました。

その後の記念講演では、「なぜ自然出産か」と題して、助産院バースカムのイの院長であられる市川きみえ先生による講話が行われました。なかにはビデオ撮影や録音をされる熱心な会員もいらつしました。また、市川先生は助産のベテランであられ、多くの生

命をお迎えされ、また、奈良女子大学大学院にも在学され興味深い内容を沢山お話頂き、大変感銘を受けました。

午後からの懇親会は、新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中、進められました。日本指圧専門学校理事長であられる同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、同窓会会長川原善次郎先生の会長挨拶と続き、乾杯の挨拶の後、新運営委員の紹介が行われ、ご挨拶を頂き、続いて和やかな歓談に移りました。今回も立食パーティー形式にしたこともあり、思い出話や業界の事、仕事の事など話に花を咲かせていました。新旧会員の交流が盛んに出来た事と思います。

最後に、校歌を全員で斉唱し、鈴木林三副会長による詩吟、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本通常総会は閉会となりました。

*本総会の記念講演「なぜ自然出産か」の内容は日本指圧専門学校同窓会ホームページにてご覧頂けます。

URL: <http://www.shiatsu-obog.com/>



市川きみえ先生講演風景



川原会長挨拶風景



歓談風景



歓談風景

平成28年度

指圧実技研修会

指圧実技研修会が本年度も実施されました。

第26回は7月9日(土)に母校にて行われ、第1部は22期橋本二郎先生より「開業準備講座」と題し行われ、第2部は43期前田雅子先生より「在宅医療に生かす基本指圧・リスクマネージメントから機能訓練まで」と題しご講義頂きました。

第27回も10月30日(日)に母校

にて行われ、25期小野田茂先生におかれましては遙々スペインよりご来日頂きました。「肝腎要と頭寒足熱」と題し実技を交えながら大変貴重なご講義をして頂きました。

来年度も全国津々浦々に広がる同窓生のご協力の下で研修会を開催したいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

第26回

指圧実技研修会(学校)

第一回実技研修会に参加して

58期 増田 初充



平成二十八年七月九日(土)、

同窓会主催第一回実技研修会が本校舎四階実技室で行われました。私は日曜日仕事をしている事もあり、都合が付かず、三年生になるまで思う様にならず、初めての参加となりました。今回の座学のテーマは「開業準備講座」とあり、

とても興味の湧くものでした。

講義いただいた二十二期の橋本二郎先生は、にこやかでとても好感がもて、先生御自身が作られた治療院のパンフレットや後期高齢者医療療養支給申請書、同意書など持って来て下さり、堅苦しい講義というより、先輩の体験談をお



聞きするという、とてもわかりやすい内容でした。

印象に残ったお言葉は「開業する勇氣」と「開業を決めたら食らいつく(覚悟)」でした。私は卒業したら六十歳からこの仕事を始められた先生と年が近いので、橋本先生のこの言葉は正しく私の勇氣でした。

「営業力」というお話は、何気なく開業すれば仕事があるかなーと漠然と考えていた私には目からウロコでした。自分でチラシを作りケアマネージャーや地域包括支援センターに持って行き、一回断られても、もう一度食らい付き、相手の気持ちに入って行く。という内容は、訪問マッサージを实践されている橋本先生ならではのお話でした。又、マナーについての細かい注意はとても説得力があり、私はうなずきながらお話を聞き入りました。

橋本先生の厳しくもあり、力強くもあり、優しくもあるお話は、これから私がどうやって仕事に取り組むかの道標となるものでした。卒業まで後八ヶ月、腕を磨き心も強く持って、開業に向け頑張って勉強したいと思いを新たにしたい一日でした。



在宅医療に生かす基本指圧(リスクマネージメント)から機能訓練までに参加して

52期 斉藤 大介

私は現在、新宿区で訪問介護の仕事をして4日、訪問マッサージの仕事をして3日しています。訪問介

護の仕事をしていると、往診の医師、訪問看護師、薬剤師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、訪



問マッサージ師などたくさんの人たちが出入りする現場に遭遇します。在宅介護の現場では、訪問マッサージを取り入れている患者さんは意外と多い印象を受けました。要介護4、5などの重度の患者さんほど訪問マッサージ師が入っています。それは、認知症が重く意思の疎通ができない人や、寝たきりで動けない人、脳梗塞の後遺症で拘縮がある人は、筋肉をやさしくほぐしたり、さすつてくれるマッサージ師を求めるからだと思います。在宅介護の現場では、訪問マッサージ師の活躍の場所はあるし、その認知度も上がってきた

ているのではないかと思います。しかし、私個人は訪問マッサージの仕事の方は経験が浅く、施術人数も少ないので、施術内容に不安があり、本を読んだり、知人のマッサージ師に聞いたりして技術を学んでいました。そんな状態の中で、今年7月から訪問マッサージを開業しました。委託業務でやるよりも自分で始めたほうがやりがいもあるし、お金になる。と思ったからです。頭の中は「どんな施術をすれば患者さんは喜んでくれるのか」で一杯でした。そんな時、友人のマッサージ師に誘われて、43期の前田雅子先生の「在宅医療に生かす基本指圧」の講義に参加しました。講義の内容は、実技を交えたわかりやすいもので、前田先生自身が訪問マッサージしている施術内容を見せてくれているようでした。その講義で注目したのは、マッサージや指圧の仕方ではなく、機能訓練でもできる内容で、それまでマッサージのことはばかり考えていて、筋力を維持する、または筋力をつける運動をすることは考えていなかったのです。目から鱗が落ちる感

じでした。確かに訪問マッサージで患者さんのところに行つて話を聞くと、「ふらつかないで歩きたい」とか「杖やカートを使わないで歩きたい」と言っている人が多かったことを思い返しました。早速、次の日の訪問マッサージでこの機能訓練を交えて施術をしました。すると、患者さんが「どうして最初からしなかったの? この

筋肉をつける訓練とマッサージとを交えてしましようよ。」と言われ、喜んでくれました。訪問マッサージとは、マッサージをするだけではなく機能訓練もすることができるということは、自分にとっては何倍にも視野が広がった感じでした。前田先生の講義の時間は短かったですが、そこから得たものは一生につながるものだったと思います。

第27回

指圧実技研修会(学校)



日本指圧専門学校同窓会セミナーと浪越指圧
ヨーロッパの日本研修ツアーの総括

25期 小野田 茂

昨年の夏(2015年)奥多摩の宿坊で、日本指圧専門学校の卒業生が組織している同窓会のメンバーのための指圧セミナーに招待されて、2時間ほど時間をもらってレクチャーさせていただきました。

今回は、2016年の秋に1年半前からヨーロッパの浪越指圧のメンバーが、ここ5、6年日本に行くツアーを誰も企画しなかった

ので、2016年の秋にどうだろうかという会員からの声がいきりに聞こえてきました。そんなこともあり2日間の浪越学園への指圧研修ツアーをメインにした日本を見て回ろうという企画が持ち上がりました。

それではと、スペインのヨーロッパ浪越の本部が企画推進して最終的段階で総勢120人、セミナー参加者72人の中規模なグルー



プが組織されて日本研修旅行が実現したのでした。
 どうせツアーとしてスペインの小野田が日本に来るのであれば、そのツアーの日程に合わせて、同窓会会員のセミナーもやっちゃえという感じで、同窓会のセミナーと日本指圧専門学校での浪越指圧ヨーロッパのメンバーのセミナーをドッキングして、両方のセ



ミナーを一
 緒にやろう
 ということ
 で実現した
 2つのイベ
 ントなので
 した。
 今回は参
 加者の大半

が、スペインメンバーとイタリアメンバーでした。その他に、スイス、アルゼンチンのグラシエラ先生の学校関係者、メキシコで、やはり浪越指圧を普及している日墨二世の百合子先生等。本当に多数の国から参加していただきました。同窓会セミナーの10月30日(日)は、ほとんどのグループのメンバーは、胸を躍らせての東京観光でした。

しかし私と、私の助手を買って出てくれた浪越指圧のベテランメンバーは、東京観光をキャンセルして同窓会セミナーに出席してくれました。彼らは、マラガやバレンシアにある学校の指圧実技のベテラン先生方です。

そして通訳として長年スペインの治療所と学校で貢献していただいた、浅香先生が来てくださいま

した。先生は英語とスペイン語が堪能で、教えることに特に情熱をもっている先生で、ここ日本でも主にスペイン語を話す指圧に興味を持った外人をメインに数多く現在まで指圧を教え続けています。
 今回も昨年同様、約2時間という限られた時間でのセミナーです。何が今伝えたいかと自問自答して頭寒足熱、肝腎(心)要をテーマにレクチャーする準備を整えました。

現代社会に生きる私たちは、コンピュータの普及により便利さを求めることにどん欲になりました。いい時代の幕開けと、これでもかこれでもかと文明改革を推進してきました。その始まりは、ほんの2昔前のことです。そして今、スマートフォン症候群、半健康症候群、ありとあらゆる難病、奇病、痛撲滅どこ



ろか、日本人の2人に一人が癌だという衝撃的な事実をもって私たちは現代を生きられて



います。こんな時に人間は、文明の利器を喜ぶ半面、私たちの未来に若干の不安を持つことは、当然のことです。人間の持つ第6感のな

人間は、いくら世の中が進歩してもまだまだ同じものを作ることができない、とてつもないそして奇跡に近い超精密機械です。

しかし機械と違うことは、感情があるということです。肉体と精神のバランスが合せて初めて健康体の人間が存在します。逆に言えば感情が体のバランス(健康)の有無を左右するということです。そんな混とんとした現代で、便利、効率を追求してきた人間は、こんな世の中だからこそ逆に最も原始的な昔から世の中に存在している手当て療法、すなわち指圧を求めているという現状が生まれたのです。



そんな訳で、人間が生きる上で一番の基本である健康を伝道するのが私たちの使命であることを再

確認する目的で、あえて今回のテーマを頭寒足熱、肝腎(心)要としました。

人間が本能的に求めている治療が指圧ということ。2時間があつという間に過ぎて、最後の締めとして鈴木林三先生にバトンタッチして林三先生の前頸部の圧仕方を教授してもらい終わりました。

其のあと居酒屋で歓迎会を用意していただき本当に楽しい1日を過ごさせていただきました。

翌日、ヨーロッパからのメンバーが8時半に日本指圧専門学校に集合ということで、時間通りにみんな来るかと若干の心配がありました。結構みんな緊張していましたが、一人も遅刻したメンバーがいまませんでした。幸先良いスタートになりました。



72名の大所帯のセミナーということで、スペイン組(メキシコ、アルゼンチン混成グループ)、イタリア組(ロベルト、パウラグループ)、イタリア、スイス混成グループの3組に分かれてセミナーが始まりました。午前中は、日本指圧専門学校の生徒たちとペアーを組んでの基本指圧操作の交換会。お互い指圧を受け合い意思が通じるという指圧ならではの醍醐味です。

午後からは、日本指圧専門学校の先生方が3班に分かれて治療の講習会が始まりました。卒業生の浅香先生、イタリア在住の白井先生、助っ人の岩田さんに、手際よく完璧に通訳していただき、参加者たちは、大変喜んでいました。

第一日目のセミナー終了後、学校側のご厚意により茗荷谷にある会館で、参加者全員と学校側の先



生方との夕食会に招待されました。メニューが西洋料理ということで、参加者は美味しかったの大合唱で

した。

第2日目に特に印象に残ったことは、道場にある最低限のエチケットが書かれた道場訓でした。

神聖なる場である道場での最低のエチケット、この意味を実際に2日間道場で学び何かを感じたようです。ゴミ一つない建物の中を物珍しそうに歩く、参加者の目は確

かに輝いていました。

合同の指圧の受合い、そして治療を学び、最終時間まで一杯勉強させてもらい、修了証書をスペイン組は石塚校長、イタリア組は浪越和民理事長より頂き、最後に集合写真を再び撮り、セミナーが閉幕しました。指圧の本山での2日間の講習は、参加者のこれからの指圧道の勲章になることでしょう。

学校側の準備及び気苦労に参加者は、日本のおもてなし精神を学び、残りの日本の名所巡りに期待をもって日本指圧専門学校を後にしました。また日本ファンが増えたことは確かなようです。学校側の温かい対応に改めて感謝いたします。



実技講習会に参加して

42期 阿部 伸二

平成二十八年十月三十日、日本指圧専門学校の道場において、浪越指圧ヨーロッパ代表であり、日西指圧学院長である小野田先生の講習会に幸運にも参加させていただきました。

参加者七十名ということもあり、

道場は参加者で埋め尽くされている状況でした。聞けば、参加希望者は七十名以上であったそうです。さすがの大人気講習会でした。講習会においては、身体のバランスを見るための脊椎の位置と内臓に影響を与える体の主要部位の



目安、頸部と腰部の脊椎の関節可動域、腰腹部の筋肉、座り方により障害を受ける筋、ストレッチにより進展する筋、腰痛におけるタイプ別症状などを面白い話を交えつつ説明されて、実際に二人組になり確認しながらの講習会となりました。特に今回は腰痛においての大腰筋、そしてスマートフォン症候群においての頸部指圧の重要性を主にお話しされていました。

現在の日本における指圧師の位置づけをお話されており、先生がおっしゃるには、無理をして難しい症例の患者さんを施術するよりも、地域に密着して必要とされる施術を行うことにこそ、これからの時代に求められて

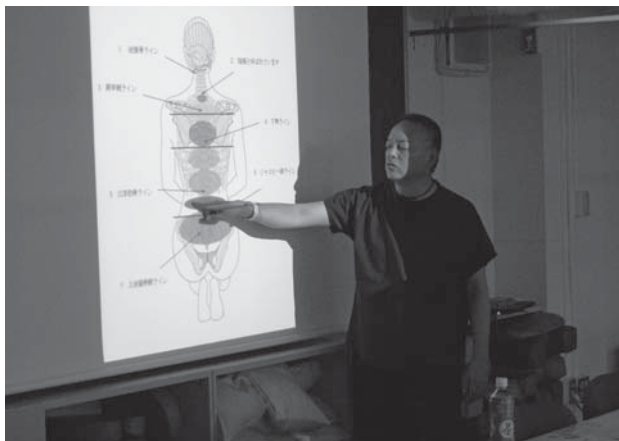


いる、ということでした。そして十二分に経験を積んでから様々な症例に取り組んでいけば指圧の需要も増えるのではないかと。確かに訪問マッサージ全盛のこの時代に、指圧師が指圧師として世間に必要であると認められるには、材料が乏しい状況にあります。私も同窓会に参加しておりますが、多くの方々が現況を危惧、杞憂されております。

指圧はもはや日本では時代に取り残されているといっても過言ではありません。小野田先生を始めとする海外で活躍されている先生方の尽力により、世界では日本よりも活発に精力的に指圧が広く求められております。指圧のお膝元である日本も努力しなければなりません。

卒業生、在校生共にこの先の指圧のため、自分のために一致団結して指圧という言葉と技術を世間に知らしめてゆくことが、指圧師として生きていくことにも繋がっていきます。

指圧師同士が協力し合い、日本の指圧を盛り上げていきましょう。





実技講習会に参加して



56期 小野 久実子

10月28日、平成28年度第2回実技講習会に参加させて頂きました。講師はスペイン、マドリッドから小野田茂先生と、鈴木林三先生です。会場である本校舎の実技室に

私が到着した時には、既に場内は大勢の参加者で溢れ、熱気に満ちていました。

先陣は小野田茂先生の講義です。テーマは「肝腎(心) 要と頭寒足

熱」。実技の前に、ヨーロッパの指圧事情について、医療として認可されている国もあることや、スマホによるストレートネック等の身体的障害や、うつ、引きこもり等の精神的障害に対しても良い効果があると、近年流行していることを伺いました。指圧発祥の地である日本でもその伝統や基本を軸とし大切にし、尚且つ時代の変化や流れに順応しながら、もっと世の中に広

と、改めて思いました。実技は、視診、触診に始まり、経穴、筋肉、可動域など、臨床で行われる一連の流れに沿った構成で、いろんな角度から、これは大事というものがばかりが詰め込まれ、私にはそのどれもが肝腎要と思われました。その中でも特に印象深く心に残っているものが、始めと終りに言われた「プロとしてゝする」意識を持つこと、そして、治すではなく「楽にする」という2つの言葉です。なぜなら、指圧師としての誇りと、浪越指圧の「母ごころ」が肝心要であると、意識の持ち方や精神、人の温もりも大切であると伝えているように思えたからです。そして、取りは鈴木林三先生のデモンストレーションです。少しでも近くで一挙一動を見逃すまいと、皆真剣な眼差しで、鈴木先生を囲みます。日頃の我流から、指圧の基本に立ち戻ることが出来た、貴重な時間でした。

講師をして下さった小野田先生、鈴木先生、講習会にご尽力くださった先生方、役員の方々に感謝致します。有難うございました。

地方研修会の募集

同窓会では平成17年8月に母校で、実技研修会を初めて開催、平成18年11月に富士市で地方研修会を開催、(本部での研修会が地方でも受けられるようにとの配慮から)以後、北九州市をはじめとして長野佐久、高知、富山、仙台、名古屋、鹿児島と開催しましたが、経費がかかりすぎるということで平成23年11月から東京近郊の伊豆長岡をはじめとして、川越、千葉、富津、箱根、東京御岳で開催してきました。最近、地方での開催を再開してはどうかとの意見があり、希望があれば左記の要領で事務局へ連絡をいただければ、前向きに検討します。

記

- 一、開催の日時(日曜、月曜が望ましい)
 - 一、実技の出来る所(畳にフuton(マットも可))
 - 一、懇親会場の手配
 - 一、東京から行くので駅の近くでスタッフの宿泊所の手配
 - 一、同窓生を最低10名は集めること
- 以上を責任を持ってやれる代表者がいること。

メキシコ指圧国際大会

第17回指圧国際大会メキシコ大会 と指圧の海外普及

カナダ指圧カレッジ並びに指圧クリニック代表
カナダ指圧師協会直伝会会長 28期 池永 清



ご存知の通り2016年7月30、31日の2日間、メキシコ合衆国の首都メキシコシティにて第17回指圧国際大会が盛大に開催され大成功のもと幕を閉じました。大会を主催されたメキシコ指圧協会の浅田秀男会長、並びに大会を全面的にバックアップされた浪越学園浪越和民理事長、現地にて陣頭指揮をとられた浪越雄二事務長及び講師の先生方、その他大会運営に携わられた全関係者の皆様に心から敬意を表します。

カナダからは、今回講師を務めさせて頂いた私を含めカナダ指圧カレッジ並びに指圧クリニックより6名が大会に参加させていただきました。すでに多くの参加された方々からレポートが上がっておりますとおり、指圧発祥の地日本

並びに開催国メキシコをはじめとした北米南米の国々などから多くの参加者がありました。また大会の様子はFacebookやYouTubeなどでも世界中に発信されて多くの称賛を得てい



池永先生講演風景

ます。ただ、あくまでも個人的な感想として、世界の他の地域、主にヨーロッパ方面からの参加が無かったのが唯一残念な点ではありました。

今回国際大会の開催国となったメキシコと私の地元であるカナダの関係におきましては、今から約8年前の2008年第15回指圧国際大会カナダ・バンクーバー大会を機に両国間の積極的な国際交流が開始されました。私と浅田先生の間では少なくとも年に一度は形式を問わず両国関係者参加の勉強会を設け、直近では今年2017年の1月に世界的なりゾート地であるメキシコ・カンクーンにて行われる指圧セミナーにおいて、昨年の国際大会に続いて再度講師を務めさせて頂くことになっております。また、今後は当事国以外の地域へも積極的に出向いてボランティアベースでの指圧の普及活動を展開していきたいと考えております。

私の考える海外における指圧の普及とは、イコール指圧師として飯を喰っていける環境の構築。つまり、その地域において指圧師として職業が成り立つこと、要は患者さんが存在してこそが真の指圧の普及です。そのうえで、その地



域の法律や医療制度のもとで保険治療などの法制化を進めていければ理想ですが、まずはお金の出どころはともかくとして、日本人だけでなく現地の人も含めた指圧師が職業としてお金を頂いて指圧をし、その収入で暮らしていける環境を構築することが指圧普及の目的と考えております。

今回の国際大会がそうであったように、私が目指す指圧大会・指圧セミナーは、指圧師の臨床の為の勉強会、または、参加者が職業としての指圧師を志すきっかけとなるような大会を理想とします。別に否定するわけではありませんが、一人でも多くの参加者を集め高い参加費用を取り修了証を渡す

ことを目的とする商業ベースで行われているイベントには私自身興味がなく、今後ともボランティアベースでいので、その国や地域で職業としての指圧師の養成に少しでも寄与できるなら可能な限り喜んで参上したいと思っています。最後に、第17回指圧国際大会メキシコ大会に、活動拠点を日本以外の海外に置く唯一の講師として招聘頂き、感じたことは、指圧の創始者である浪越徳治郎先生が考案し、今もなお母校浪越学園にて継承されている指圧の原点が忠実に受け継がれている。

という事です。この当たり前で、とても困難で、そしてやりがいのある仕事を、浅田先生を中心としたメキシコの同志が続けている限



池永先生デモンストレーション

り、そう遠くない将来地域に根差した施術環境が必ず構築されるでしょう。

私は、カナダに渡って10年目で国際大会を開くことが出来ました。浅田先生は8年目での開催だそうです。指圧を天下に広めよう！その天下を日本だけでなく世界中に広げられた故徳治郎先生の御意志と、その伝統を受け継がれ今もお世界にちらばる同志をサポート頂いている和民現理事長並びに浪越学園のスタッフの皆さま方、そして、我々の時代よりも遥かに困難であったであろう時代に先駆けとなられた諸先輩方に、あらためましてこの場をお借りし心より御礼申し上げます。



熱心に指導する池永先生

第一七回指圧国際大会メキシコ大会を振り返って

浪越指圧メキシコ協会会長

48期 浅田 秀 男

昨年、私は海外で活躍する卒業生の中では過去最短となる普及活動開始から八年で、一九七九年開催の第一回東京大会から今に続く、歴史ある指圧国際大会の大会委員長を務めさせていただきました。

二〇一六年七月三〇日、三一日メキシコシティにおいて、日本をはじめ、メキシコ、カナダ、ホンジュラス、キューバ、ドミニカ、アルゼンチン、スペイン、ベル



浪越指圧メキシコ協会会長 浅田秀男先生

ギー、フィンランドから、医師、指圧師、マッサージ師、理学療法士など各分野の専門家が約二百名参加した、ラテンアメリカに密着した国際色豊かな大会となりました。これから、私の日本指圧専門学校への入学から、メキシコ大会開催までを振り返ってみたいと思います。

徳治郎先生の言葉

指圧は、とても素晴らしい手技療法です。その効果は計り知れないものだと、日々の施術を通して実感しています。私は指圧が心から好きです。しかし、一年の前期は指圧好きではなく、当時の私は「指圧の圧点が経穴由来のものかもしれない。鍼灸を学べよかつた」「中医学のように症を立て、体系化した対応というのが指圧には無いようだ。ただ押すだけで患者の不調に対応できるのか」「指圧を仕事として生活できるのか」と、当時の私は指圧の知識が無い



メキシコの生徒さんと

ことから、このように思っています。そのため指圧に熱中できず、焦りや鍼灸に対して劣等感に近い感情を抱いていました。そして、一年の後期が終わる頃、指圧の歴史の学習中、偶然目に入った浪越徳治郎先生の言葉がキツカケで指圧を受け入れる事が出来ました。振り返ると、そこが今に繋がる出発点だったと思います。その言葉とは、「自分の指圧はなんら医学の影響を受けていない」です。私は、徳治郎先生の言葉を見つけたことで自分の目標が明確になりました。その目標とは、中医学と切り離して指圧を研究し、指圧の真髄に近づくこと。その時点で、

卒業するまでに目標を達成するには時間が足りないかと判断し、すぐ会社を辞めて退職金で細々と暮らしながら指圧に没頭できる環境を作りました。まず最初に取り掛かったことは、指圧の手順がどのような考えを元に考案されたかを、指圧が影響を受けたと言われるオステオパシー、カイロプラクティックなどの手技療法と対比させながら検証することでした。次に、圧点毎にどのような効果が期待できるかを事細かく調べてきました。この作業を繰り返すことで、基本指圧の手順や圧点に色々な目的が含まれていることに気づき驚きました。指圧は指圧である事がわかり、指圧で色々な事ができる、そして指圧はやりがいのある仕事になる感触を得ると、指圧を心から好きになりました。

協会発足と普及

卒業後すぐ、二〇〇七年六月から妻の母国であるメキシコで指圧の活動を開始しました。国家資格を持つものとしては、メキシコでも正式に活動したいため、メキシコにあった二つの資格「指圧師」と「指圧インストラクター」の両方をスペイン語で受験することから始めました。この二つの試験が、

後の指圧普及のきっかけとなりました。なぜなら、受験勉強を通して、当時の指圧理論、教育プログラムの指圧を知ることができ、メキシコの指圧の全貌を把握でき、修正が必要な部分が見えたからです。印象的だったのは、指圧は中国の奥地の道教の中で生まれ、経絡上に定められた圧点を、虚実に注意して押していく内容であり、指圧の三原則や五作用などには一つも触れられておらず、手順や圧点が浪越指圧に類似するものでした。この内容を知った時、メキシコの指圧を作るにあたって、関係者はさぞや苦しんだのだろうと想像できました。約十五年前に作成されたメキシコ指圧は、今ほどインターネットも発達しておらず、簡単に正しい指圧の情報を入手することは難しく、当時の関係者たちは入手できた全ての情報を張り合わせ作り上げたような苦労の跡が見えるものでした。その時、「将来、メキシコに正しい指圧を伝えた」という心が芽生えました。その後、指圧インストラクター時代に知り合ったメキシコ人指圧師や生徒達が言った「最初は指圧が大好きでしたが、世間がいうほど指圧は効かないから、今はマッサージをしています。」という言葉で、

指圧に期待して勉強し始めるメキシコ人の情熱を消さないために、日本の指圧を勉強できる独自機関を作らなければならぬと考え、初めは学校をイメージしたのですが、誰でも気楽に勉強できる環境としては指圧協会という形態が当時の選択肢では最適に思え、「メキシコの指圧は日本の指圧」を合言葉に、二〇〇八年七月三〇日「浪越指圧メキシコ協会」を発足しました。国際大会開始後に気づいたのですが、偶然にもちょうど八年後の創立の日に国際大会を開催していました。

メキシコの指圧は日本の指圧

協会発足後、各地で講演や講習会を細々と行いました。今ではホテルを用意して頂けるようになりましたが、開始当初は納屋の横で寝るようなこと、カンファレンスでは進行時間調整のため、事前に頂いた一時間の持ち時間を急遽五分にされた事など辛い下積み時代もありました。今となっては全てが良い思い出です。そして二〇一〇年に転機が訪れました。地味な多くの活動と指圧の総本山である日本指圧専門学校の卒業生であるという肩書きの恩恵を受け、幸運にもメキシコ文部省の指圧やマッ

サージ等のガイドライン更改のために設置された委員会のメンバーに推薦されました。更改で、母校の学ぶ日本の指圧がメキシコの指圧になりました。しかし、更改前からあるメキシコの指圧を真剣に取り組んで来た人達が多くおり、その中には師匠や先生として指導をされている方々が多く存在しました。日本の指圧をガイドラインすることは、今までの彼らの言動を否定することになるので、どのように彼らを導いて統一していくかという事は更改当初から懸案事項としてありました。公布後には予想した通りの混乱がありました。が、スマートな解決方法はありませんでした。ある師匠が門弟達を多く引き連れて道場破りのごとく訪ねてくる状況に幾度となく陥りました。その都度、彼らの身体を指圧しながら、解説と親指で説得し事態を収拾してきました。その経験から、現在メキシコの各地で力を入れている「公開施術」が誕生しました。公開施術とは、実際に指圧がどのようなものか臨床を通して理解してもらうことを目的として、受講者達が公開施術に同意を得た患者を用意し、私が施術に解説をつけながら指圧の効能を見せる機会をいい、病院、リハビリ

リセンター、大学、マッサージ学校、治療院などで行なってきました。海外ではどうしても指圧を「東洋の神秘」と好奇心な目で見られる事が多いため、指圧が西洋医学の延長線上にあることを示し続け、冷静に西洋医学の視点で指圧を注目してもらええる環境を作ってきました。現在は、医師、理学療法士、治療家などから専門性のあるテーマにおいて、「指圧でこういう症状にも効果があるかもしれないよ」といったアドバイスを聞けるようになり、指圧の適応する領域が広がる可能性を感じながら、学生時代に浪越徳治郎先生の言葉に心が動いたことが、現在の普及活動に繋がっていると思えました。

国際大会を実現

メキシコでの地道な普及活動を続けて来た結果、二〇一五年秋にメキシコ大会開催の許可をいただきました。メキシコ大会を指圧に関心を持つ全ての人に正しい情報を伝える絶好の機会にするために、世界の指圧最高機関である日本指圧専門学校からは浪越雄二先生、黒沢純一先生、石塚洋之先生、日本指圧協会からベテランの稲場哲夫先生、臨床の第一線で活躍する卒業生から高木光洋先生（四八

期）、公平尚行先生（四八期）、そして欧米の指圧界を代表してカナダの池永清先生（二八期）七名の先生方による、指圧理論、指圧の生理学的解説、スポーツ、治療、美容分野の専門性に富んだ講演をして頂きました。また、海を渡って応援に来ていただいた宮脇利博先生（二二期）、石塚玲子先生（二七期）、瀧本光代先生（五十期）には、実技のサポートをして頂き、短い時間ではありましたが内容の充実した大会となり、参加者アンケートからもそれを確認することができました。

これから十年

大会を終え半年近くが経つ今、メキシコ国内の複数都市から普及のお話をいただいております。メキシコ国内での指圧の広がりを感じる。同時に、協会の活動もついに繁忙期を迎えることになりそうです。が、忙しい時こそ「メキシコの指圧は基本に忠実」という品質を落とさないように、今後も普及内容の精査を十分に行ないをミスリードが起きないように一層の注意が必要と感じています。また、この数年の喜びは、指圧で独立して生計を立てる生徒たちが現れ、メキシコ国内で比較的良好収入を得る

ほどになつてきたことです。こうしたことから、「指圧がメキシコ人の立派な職業」として定着することを協会の最重要課題として、ビジネスモデルの共有など通してサポートを実施していきたいです。

最後に開催にあたり、浪越理事長をはじめとした日本指圧専門学校からの多大なる支援、講演を快く引き受けていただけた先生方、先輩後輩の皆様から応援、指圧を普及に協力いただいたメキシコ関係機関の皆様、大会準備で幾度となく徹夜作業など頑張ってくれた浪越指圧メキシコ協会のスタッフ全員、全ての方々に改めて感謝を申し上げます。



カナダ・バンクーバーの池永先生と

『メキシコ指圧国際大会に参加して』

48期 高木 光洋

初めに

『なぜ私がメキシコ指圧国際大会に参加させていたかどうかと思ったか』

それには2つの思いがありました。

1つは

「お世話になっていている人のために何かしたい。」



高木先生の指導に聞き入る

もう1つは

「自分の理念のために。」

皆様こんにちは。

神奈川県鎌倉市で治療院を開業しています、高木光洋です。

昨年の7月30日・31日にメキシコで開催された『第17回指圧国際大会』に出席し、講演の機会をいただきました。今回のメキシコ大会を主催したのが、48期D組で同じ指圧師を志し共に勉学に励んだ、浅田秀男先生でした。

浅田先生は在学中も卒業後も仲良くしてくださり、メキシコから帰国時は大体お会いしています。新婚旅行の時には、浅田先生に会いにメキシコへ行きました。

一昨年の夏ごろ、浅田先生が帰国の際にお会いした時、「メキシコ指圧国際大会が開催できる事になったけど来年(2016年)メキシコ来る？」と声をかけていただきました。



左が高木先生、右がメキシコの鈴木先生

お話を聞いた時は私で力になれるか不安でした。しかし、メキシコで指圧を真剣に学ばれている指圧師の方の少しでもお役に立てれば、また浅田先生の長年の夢だったメキシコ指圧国際大会開催のお役に立てればと思います、その場でありがたく参加させていただく事に決めました。

高校を卒業してからすぐに浪越学園に入学、卒業後、今の治療院を開院しました。今まで患者さんを前に話をするにはあるものの、大勢の人を前に話をする機会などなく、ましてや指圧国際大会という大舞台で講演している自分など全くイメージ出来ず、無事に務め上げる事が出来るのかとても不安

でした。

しかし、引き受けたからに日本の浪越指圧をメキシコの方々に伝えたい。

国際大会を成功させる為に資料作りやプレゼンの練習などの試行錯誤を続け、本番前まで準備に準備を重ね、発表の段階まで持つてくる事が出来ました。

国際大会で私が発表したのは『上部胸椎、腰椎に対する指圧』でした。浪越徳治郎先生が指圧はカイロプラクティックの要素も取り入れているとおっしゃられていたので、指圧とカイロプラクティックの共通点を考えました。

そこで考え付いたのが診断即治療と垂直圧を意識する、脊柱に対する指圧でした。

ただ、普段は筋肉を触ることは多いですが脊柱をあまり触り慣れていなかったので、脊柱を探すところから少し難しかったようでした。

また、脊柱に対して指圧するというのがイメージになかったようだったので少し伝わり辛かったようでしたが、指圧は様々な分野にも対応し、色々な可能性があるということを伝えることができたのではないかと思います。

メキシコで指圧を学びに来られていた生徒の皆さんは本当に熱心に指圧を学ばれていました。みなさんの指圧に取り組む姿勢にとっても感銘を受けました。

私が日本指圧学校在学中、鈴木林三先生は授業でよく「頭で考えない。体で覚える。」とおっしゃっていました。

私は英語もスペイン語も話す事ができません。言葉で伝えなくてはいけない事ももちろんあります。ですが、私たちの「指圧を伝えたい」という想いと海外で「指圧を学びたい」と思っている人たちが。

そこにいる全員が「指圧」という同じ方向を向いていれば言葉が伝わらなくても頭を使わなくても、身振り手振りで伝えたり、体で覚えてもらうことで伝えられるものがたくさんあると実感しました。

「指圧」に国境はない。
指圧をする方も指圧を受ける方も全世界の方々に指圧の効果を体感し、指圧の魅力が伝わると再認識しました。

『私は日本中の人、そして世界中の人が健康で幸せな生活を笑顔で送れるようになってもらいたいと思っています。』

この思いを胸に指圧師を目指し、今の治療院で患者さんと接してい

ます。

ただ、私自身が生涯において治療できる人数は限られていますし、ましてや、いくら世界中の人を笑顔にしたいと思っても、日本中、世界中の人を治療することは到底出来ません。

しかし、自分と同じ志の人を世界中で見つけ、その考えに共感してもらい、同じ目的のために一緒に行動してくれる人たちを増やしていくことで、結果として、世界中、世界中の人を健康で幸せな生活を笑顔で送ってもらえるようになると思っています。

指圧の発展のため、臨床での指圧の可能性を広げるため国際大会の開催年2016年の1月から現



高木先生のポイント指導

在までパソコンのカメラを使い、メキシコの指圧師の方々に向けてオンラインセミナーを定期的に開催しています。

2017年は「CURSOR ONLINE EN VIVOクルス・オンライン・エン・ビボ」という名前で、今年も定期開催の予定をしメキシコの指圧師の方々にたくさん伝えていけたらと思っています。

昨年のメキシコ大会や今後も開催され続けていく指圧国際大会で、より多くの方々が「指圧」に興味を持ち、指圧を学び、世界中に指圧師が増えることで、日本だけでなく世界中の人々を指圧で救うことができるような輪が広がっていくことを願っています。

今回のメキシコ指圧国際大会では貴重な経験をする事ができ、又、自分の理念の実現に1つ近づく事ができました。

ご招待くださった浪越指圧メキシコ協会会長 浅田秀男先生大会準備や大会中講義のお手伝いをしてくださったスタッフの皆様。

出国から大会中、メキシコ観光や一緒に食事したりお酒を飲んだりと皆様と本当に楽しい充実した貴重な時間を過ごさせていただく事ができました。



伏臥位肩甲下部をレクチャー

浪越雄二先生、稲場哲夫先生、池永清先生、黒沢純一先生、石塚洋之先生、石塚玲子先生、滝本光代先生、公平尚行先生
皆様、ご一緒させていただき誠に有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今後とも患者さんの為、指圧発展の為に貢献していけたらと思います。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

この度はメキシコ指圧国際大会に参加させていただき、誠に有り難うございました。

メキシコ指圧国際大会に参加して

指圧治療院マリーノ院長

48期 公平尚行

まさか自分が、指圧界のオリンピックともいえるべき、指圧国際大会に参加させていただけるなんて夢にも思っていませんでした。これはもう紛れもなく、浅田先生と出会えたおかげです。学生時代同じクラスに、後にメキシコ指圧協会を立ち上げられる浅田秀夫先生がいました。当時の浅田先生は、まだサラリーマンをしながら通学されていましたが、会社から学校までの距離が遠かったため、よく



デモンストレーションする公平先生

遅刻して来られる人という印象が強かったです。しかし、そんな生活も最初の一年程だけで、指圧の世界で第二の人生を歩んでいくという決心をされ、その後卒業まで、指圧研究会や修練会等、学生生活に専念されていきました。そして卒業と同時に、日本で知り合ったメキシコ人の女性とご結婚され、メキシコに日本発祥の指圧を広めるべく、メキシコへと旅立たれました。その頃は卒業後、訪問マッサージやリラクゼーションマツサージ店等を転々としていたうちに、段々と指圧に対する目標やモチベーションを失ってしまい、二十代半ばで一度指圧の世界から離れることとなりました。指圧から離れていた間は、アルバイトをしながらやりたいことを模索していましたが、高校卒業以来、ずっと指圧一本でやってきたため、やはり頭の隅にどうしても指圧のことがよぎってしまい、「やつぱり自分には指圧しかない」と思い、もう一度指圧の世界に復帰すること



熱心に練習中

を決意しました。治療業界に再就職する前に、ふとメキシコで活躍されていた同期の浅田先生のことを思い出し、「そういえばメキシコでどんな風に指圧をやっているのだろう」と思い、時間とお金に余裕があったので、再び指圧へのモチベーションを上げるべく、思い切ってメキシコに訪問してみました。生まれて初めての海外ということもあって、最初は緊張し

ていましたが、浅田先生のご家族や生徒さんたちに温かく迎え入れてもらいました。更に簡単な講習会の場までお膳立てしていただき、指圧界復帰へのいいきっかけになりました。帰国後は鍼灸マッサージ院に再就職し、仕事と並行して、もう一度メキシコに行く時に備えて、スペイン語も勉強し始めました。そして独立開業の準備をしていた頃に、ちょうど日本に帰国していた浅田先生から、来年メキシコで国際大会が開催されることを聞かされ、同期の中で一度メキシコを訪問した数少ないメンバーとして、発表の場を設けていただけることになりました。大会に向けてテーマを考えましたが、浅田先生と打ち合わせしてもなかなか先に進まず、浅田先生からの提案で、先生が大きなテーマを考えるので、それを自分なりのやり方で発表するという形に収まりました。そして本番当日を迎えましたが、連絡の手違



メキシコのスタッフと講師の先生方

いから原稿のチェックがギリギリになってしまったたり、スライドを見せるためのパソコンの操作がわからなかったりとハプニングがありました。約三年間勉強したスペイン語での挨拶で拍手喝采をいただいて落ち着きを取り戻し、なんとか前半の講義を終えました。続いて後半の実技では、皆が自分の号令に合わせて真剣に取り組んでいたのですが、とりあえず安心しましたが、壇上から降りて見て回っていると、あちこちから呼ばれて

指導をしているうちに、気付けば自分の周りに人ばかりができていました。次から次へと矢継ぎ早に質問が飛んできて、どうにも収拾がつかなくなりそうになったので、頃合いを見て壇上に戻り、最後の締めめの挨拶をさせていただきました。自分の発表を終えました。人生初の本格的な講義だったということもあり、しばらくの間、軽い放心状態になりました。その後、大トリを務めるカナダの池永先生の講義を見学しましたが、やはりそこはベテランならではの持ち味なのか、終始リラックスしながら講義をされている姿を見て、経験値の雲泥の差を痛感しました。講義は滞りなくすべて終わり、記念撮影ラッ



シュになり、その時に改めて自分とはとつもなく大きな舞台に立たせていただいたことを実感しました。そして最後はやはりお約束の、稲葉先生による指圧のスローガンの大合唱で幕を閉じました。思えば稲場先生は、講義中でも自身のペースで空気を作り、瞬く間に場を盛り上げてしまうので、指圧は伝える人次第で、国も人種もこえてしまうものだと初めて気付かされました。おそらく浅田先生や池永先生を含め、海外でご活躍されている先生方も、指圧が持つ可能性を感じ続けてきたからこそ、異国の地でも多くの人々を魅了し、指圧を世界規模にまで広めることができたんだと思います。浅田先生がメキシコで成功されたのも、指圧の技術だけでなく、やはり周りの人をどんどん取り込んでいく、人間的な魅力があったからこそだと



参加者全員で記念写真

確信しています。浅田先生と出会って十三年。偶然同じクラスになれたご縁で、浪越学園を卒業した指圧師として、最高の経験をさせていただいたことに、心から感謝申し上げます。

今日より明日へ

同窓生からの便り

「開業しました」



57期 嶋田 洋

突然ではありますが、私こと嶋田洋は、五七期で卒業してから約一年、このたび横浜の自宅にて開業の運びとなりました。

えっ、あの腕で、あの経験でも開業？と呆れる皆様の顔が浮かびます。でも私も今年で十七歳480ヶ月、それに「開業して一年はお客さんは来ないと思った方が良い」と聞きます。それなら



いつそ早く開業して試行錯誤した方が良かった、開業を決意しました。

開業の日は平成二九年一月十日、ついこの間のことです。ですのでこの文章は、「こんな風にうまく運営しています」ではなくて、既に開業されている皆様には聞かずもがなの内容になりますことを、お赦しください。施術所開設届ですが、記入用紙は各自自治体のサイトからダウンロードできます。届出の受付窓口は、私の場合



居住区の区役所でした。まず開設届の原稿を持参して一度相談に行くのが良いようです。私は免許証を持参するのを忘れて、都合三回行きました。

住居での開設なので、「玄関は居住者用と通院者用で別々にしろ」などと言われたらどうしよう、とビクビクしていたのですが、拍子抜けするくらいアッサリ受理されました。看板は風呂のすのこを素材に手作りしました。ちらしはパソコンでカラー両面で自作して、ネットで見つけた印刷ショップにUSBで持ち込み、光沢紙に三百

卒業十年目



48期 永井 知子

皆様初めまして。48期卒業生の永井知子と申します。

(旧姓 石井) 私が日本指圧専門学校へ入学したのは23歳の時でした。高校卒業後、5年間歯科助手として働き、将来手に職を持ちたいという思いから、上京し入学を決意しました。在学中、バイトに学校にととも忙しい毎日でしたが、沢山の友人と良い先生方に恵まれ充実した

枚印刷してもらって、町内会の範囲のお宅のポストに入れました。施術は和室で畳で行ないます。マットはタイ式マッサージ用のネット通販で購入、枕はひのきチップ入り。胸当てやC字枕は学校と同じもの。自分が着る施術着はミズノの製品で、これもネット購入です。マット等については、五九期の岡庭さんにご助言頂きました、有難うございました！

「全てはこれから」過ぎて、ダメになる話になっていませんね。温かい目で嶋田センセイの次回作に、どうかご期待ください！

3年間を過ごすことができました。卒業後、サウナ東京ドームで働いたのち、結婚を機に私の実家のある茨城県神栖市でクラスメートだった主人と2人で開業しました。田舎だということもあり、お客様の年齢層はやや高めなのですが、それがよかったのか年配の方々は「指圧好き」が多く、私達の指圧をととても喜んでくれました。そして、ご縁があり老人介護サービスを行っているお客様から「在宅マッサージ」をしてほしいと声をかけて頂き、地域の皆様のお役に

平成30年度 AO入学試験日程

	エントリーシート 受付期間	AO入試日 (面接)	AO結果 通知	AO入試合格 内定者出願期間	結果通知 予定日
AO入試	第一次	6月12日(月)～6月22日(木)	6月25日(日)	7月3日(月)～ 7月7日(金)	8月1日(火)
	第二次	7月13日(木)～7月26日(木)	7月28日(金)	試験日より 一週間以内	8月14日(月)
	第三次	8月7日(月)～8月17日(木)	8月20日(日)		8月28日(月)～ 9月1日(金)

平成30年度 入学試験日程

	受付期間	試験日	合格発表
社会人入試(一次)	9月4日(月)～9月14日(木)	9月17日(日)	9月19日(火)
推薦入試	10月2日(月)～10月12日(木)	10月15日(日)	10月16日(月)
社会人入試(二次)	10月16日(月)～10月26日(木)	10月29日(日)	10月30日(月)
一般入試(一次)	11月1日(水)～11月9日(木)	11月12日(日)	11月13日(月)
一般入試(二次)	11月27日(月)～12月7日(木)	12月10日(日)	12月11日(月)
一般入試(三次)	1月9日(火)～1月18日(木)	1月21日(日)	1月22日(月)
一般入試(四次)	2月2日(金)～2月8日(木)	2月11日(日)	2月13日(火)
一般入試(五次)	2月26日(月)～3月8日(木)	3月11日(日)	3月12日(月)

*詳しくは学校HPをご覧ください。日本指圧専門学校までご連絡いただければ説明させていただきます。(TEL 03-3813-7354)

立てればと、2人で勉強を在宅マッサージも始めました。病気を患った方々への施術を通し改めて一押し、一押しの大切さ、コミュニケーションの大切さを日々学ばせて頂いています。

卒業後、私自身「不安神経症」と言う心の病を患い、とても辛く、大変な時期がありました。心のケアの仕方は分からないからと、硬くなった身体を主人が少しずつほぐしてくれ、それと同時に少しずつ

つ心も楽になったのです。この経験を役立てたいと思い、カウンセラーの資格をとり、カウンセリングも始めました。卒業後の十年間で、学校で教わった「手当て」の大事さを実感しています。身体の辛い所に、温かい手をそっと置き、それだけで多くの方々が喜んでくれます。これからは、「手当て」もしながら、技術と知識の向上に日々精進して行きたいと思えます。

「同窓会ホームページが新しくなりました」



2008年に日本指圧専門学校同窓会のホームページを開設して以来、同窓会会員の情報交換の場所としてご利用いただいていたが、昨今の技術の変化やスマートフォンの普及などもあり、昨年度リニューアルを致しました。

今回のリニューアルでは、デザインの刷新の他、パソコンやタブレット、スマートフォンなど、どの端末においても画面表示幅が自動的に調節され読みやすいようになりました。

また、治療院ガイドでは治療院の写真や特徴なども掲載できるようになりました。一般の患者様に対して、よりわかりやすく治療院の特色や雰囲気などを伝えられるようになっています。同窓会HPの治療院ガイドのページに「新規掲載・変更」のボタンがございますので、ご利用をお待ちしております。

また、「会員レポート」の投稿もお待ちしております。会員の皆様の積極的な情報発信が同窓会そして指圧業界を盛り上げていき、それが患者様の利益へとなるものと思います。いままで以上に会員の皆様にご活用いただければHP委員としても嬉しい限りです。

同窓会 HP 委員 黒澤一弘

第五十八期 卒業式

日本指圧専門学校第58期卒業式が3月4日(土) ホテル東京ガーデンパレスにて午前10時から執り行われた。

黒沢純一課長の司会で、君が代斉唱の後、卒業証書の授与が始まる。昼間部、田中智子先生・本多剛先生、夜間部、高橋雄輔先生・渡邊和雄先生の呼名により102名の卒業生が一人一人壇上に上り、石塚寛校長より卒業証書と専門士の称号が授与された。

続いて東洋療法学校協会賞がB組の柏木雄一さんに手渡され会場は拍手喝采に包まれた。その後、日本東洋医学系物理療法学会がA組の前田孝政さんに手渡され、大きな拍手が起こった。賞状授与は続き、3年間皆勤された卒業生に満場の拍手と共に賞状と記念品が手渡された。さらに功労賞(学級委員)、優等賞の表彰、さらに指圧研究会や指圧修練会、オイルマッサージ部、あん摩同好会、指圧連、野球部、浪越スポーツ指圧トレーナー部など、部活動に活躍した学生が表彰を受けた。

同窓会会長賞は、D組の吉富和徳さんが受賞し、川原善次郎会長より記念品が手渡された。

石塚寛校長の式辞、浪越和民理事長の



祝辞に続き、ご来賓の煙山力理事、佐藤一美指圧協会筆頭副理事長、川原善次郎同窓会会長より温かい祝辞を頂戴しました。

次に祝電披露、在校生代表小嶺遼さんによる送辞、卒業生代表永井俊英さんによる答辞が述べられ、各々が心の中で3年間の思い出を巡らせているようでした。最後に校歌「指圧讃歌」を合唱し、卒業式は閉式しました。

卒業生第58期代表からのひと言メッセージ

「三年間を振り返って」



A組 井上由紀子

学校生活のスタートは、本校舎での入学式。

教室いっぱいの人で緊張感もあり、期待がふくら

みましたが、授業が始まると、先生の言葉やさっぱり理解できず：勉強についていけないのか不安に感じた事を思い出します。この三年間、授業や学園祭などで、いろいろな人の身体に触れ母心を学び、悩んだり落ち込んだり、楽しんだり笑ったりしながら過ごした貴重な時間だったと思います。修

指圧と出会って



A組 吉田 祥平

大学受験で浪人中という身から指圧師になる為に日本指圧専門学校に入学した僕ですが、

この学校に入学して良かったと本当に思います。指圧をメインで学べ、指圧実技の時間が他校よりも多い本校だからこそ、指圧を受ける心地良さや、自分が指圧した相手に喜んでもらえるという体験がより強いものになったと思います。指圧には、自分の身体さえあれば場所を問わず人の健康状態をより良い方向へ導く力があります。これは本当に凄いことだと思います。見よう見真似で誰でも出来るし、

練会では、稲場先生をはじめ先輩方に、アドバイスやたくさんの方の指導をしていただきました。部活動を通して学んだことも、楽しい思い出です。過ぎてしまえば、あつと言ったのもあれませんが、長い三年間のゴールといえる卒業式をやっと迎えることができました。

これからは、指圧師として新たなスタートとなります。日々勉強し、技術・知識を少しでも多く身につけていこうと思います。この学校に入って出会えた方々との縁に感謝します。これからもよろしくお願いたします。ありがとうございます。

一見簡単そうにも見える指圧ですが、その塩梅は施術者の知識や経験、考え方、相手を思いやる心の程度などによって変わるので、想像以上に複雑で難しいです。色々な要素が絡むので一筋縄ではいかない。これが指圧の奥深いところで、これからどれだけ臨床経験を積んで勉強しても、その人の指圧が完成することはないという意味で、指圧には職人的な部分があると僕は考えています。先生方のおかげもあり僕はそんな指圧が凄く好きになりました。もうすぐ就職ですが、学校で習ったことを忘れず自分の軸として持って、指圧の可能性を最大限発揮させられるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。

ありがとう！



B組 五井 潤子

授業で撮った動画を見て、「あなた達って変な集団だよ」と夫が呟きました。

先生の指導してくださる様子を見ながら、何の許可を得るでもなく、隣にいるクラスメートに、その技を試したりしている人がいるからです。そこには、男女の区別も年齢の違いもなく、指圧を学ぶもの同士の気の置けない関係があるだけ——。

普通の社会なら、20歳前から60歳までの年の差のある集団がフラットな関係でいる

「ありがとう」



B組 鈴木 隆正

心からの「ありがとう」を、58期B組のクラスメート全員へ、そして時に厳しく温かく見守り続けてくださった先生方にお伝えしたいです。

三年前の入学式からの帰り道、これから始まる学校と仕事の両立生活がうまくいくのかどうか大きな不安を抱えながら満開の桜並木を歩いたことが昨日の事のように思い起こされます。定期試験や模試などの前に体調を崩し、体力的にも精

ことなど、あり得ない。でも、右も左もわからない状態から一緒に指圧を学んできたクラスメートたちとは、ちょっと説明が難しい距離感でつながっていた気がします。新しいことだらけの難しい「座学」といつまでも上達しない「実技」に悩みながらも、このゆったり温かな空気の中で三年間を過ごせたことは、私にとって何よりの幸運でした。みんなありがとう！そして、そんなクラスをいつも大きく包み込んでくださった、担任の本多先生と田中先生はじめ、諸先生方、同期の仲間や部活の先輩、後輩たち、本当にありがとうございます。いろいろな意味で夢のような三年間でした。

神的にも追い込まれることが度々ありましたが、それを乗り越えられたのも年齢や人生経験は違うものの「指圧師になる」という同じ志を持つ仲間がいたからだと実感しています。授業が終わったらすぐ仕事に向かわなければならぬ毎日、クラスメートとの時間をなかなか作ることができなかったことは悔やまれますが、切磋琢磨し励まし合える仲間はこの三年間で得られたかけがえのない大切なもの、それを糧に指圧師としての一歩を踏み出せることに心から感謝したいと思います。

「感謝の3年間」



C組 尾川 恵美

この学校に入学を決めたのは、基本的な知識と手技をもう一度学び直したかったから、そして自分にとってそれが治療師としての幅を広げてくれると思っただけです。

私は10数年間、鍼灸師として治療院で働いていました。自分の治療がマンネリ化し、このままじゃいかんなあと感じていた頃、同じ治療院に浪越に入学したばかりの後輩が入ってきました。話を聞くと、とても楽しそうに学校の事や指圧の事を説明してくれて、これだ！と思いました。あん摩マッサージ指圧師の免許を取ろう！そして学校に通うなら浪越に！と思うようになり、浪越に入学しました。正直、周りの反応は芳しくありませんでした。「鍼灸師としてのキャリアがあるんだから、アマ指の免許必要なの？」とか云々。

それでも、どうしても学校に行きたいと会社の上役を説得し、どうにか仕事との折り合いをつけ入学できました。この歳で、もう一度学校に通うというのはとても新鮮でした。

知識の入れ直しやクラスの友達とたわいもない話をするのはとても楽しい一方、仕事と勉強の両立はとてもキツかったです。体力的にも精神的にも。定期試験の前は特に勉強時間を確保するのが難しかったです。でも、このクラスの皆で協力して乗り越えられました。試験前にファミレスで皆と一緒に勉強したのもいい思い出です。仕事でトラブルがあつて落ち込んでいた時、友人が黙って話を聞いて励ましてくれて、もれだけ救われた事か。先生方にも治療面でのいろいろ相談に乗って頂きました。本当に感謝してもしきれません。ありがとうございます。卒業し、これからまた新しい治療師人生がはじまります。3年間の学校生活や、クラスの皆、先生方との出会いに感謝!! 一緒になって苦業を共にしたクラスの仲間がいるのを励みに、また頑張つて行こうと思います。

汗と涙と感動の3年間



C組 三神 恭平

C組の皆さん、3年間本当にお疲れ様でした！

卒業まで誰一人欠けることなくここまでこれたこと、本当にうれしく思います。クラス委員長という大役を3年間やることができたのも皆さんの協力と、古堅さんと木村さんというすばらしい副委員長がいたからこそです。クラス委員長を任せられたときは不安だつたんですが、これもいい経験になるかなとちょっと前向きに捉えています。いざ初顔合わせしてみるとまあキラキラの濃そうなメンツで委員長を引き受けたことを後悔しました。ですが実際に話してみるとまじめで優

しい人たちがばかりで、年下の子たちは元気で明るくて歳が離れていてもタメ口で話しちゃうようなゆとり世代っぷりが伝わってくるいい子たちだったし、年上の人たちも落ち着きがあつて頼りになるし、時には年齢差を感じさせないようなはしゃぎっぷりで大丈夫かな？って思わされることもありましたが尊敬できる人たちでした。卒業後はみんなそれぞれの道を進むことになると思います、いろんな困難やチャレンジしなければいけないことがたくさんでてくると思います。そんなときは58期生の仲間たちと協力したり、あるいは競い合つて、切磋琢磨していける関係になれば最高ですね。短い文章では語りつくせないほどの体験をさせてもらいました、皆さんの今後のご活躍を本当に期待しています。面白いような話があつたら誘ってください。3年間ありがとうございました。

「3年間ありがとうございました」



D組 田中 淳

「3年間通えば資格を取れて、身体の勉強もできる」などと割と軽い気持ちで入学を決めた私。でした

が、定期テストでは赤点を毎度取つたり、授業中は居眠りが多かったり、飲み会では酔い潰れたり先生方やクラスの皆さまには何かと迷惑をかけたかと思ひます。あの時は申し訳ありませんでした。そんな私ですが、なんとか卒業式を迎える事が出来ました。これはもう皆さまのおかげでしたと言っほかありません。本当にありがとうございます。3年間通ひ続けたのも、このDクラスだったからかも知れないですね。女装コンテストで張り切つて踊つてくれたクラス委員長を始め、嫌がる私の三十路の誕生日を

一年前から毎日カウントダウンしてくれたあの人が、休み時間目が合うと肩を揉んでと言う人、毎日お菓子交換をしていてお裾分けをくれる女性陣の皆さま、働く場所が偶然同じになった人、身体を鍛えると言つて私を背に乗せて腕立てした人。他にも中々個性に溢れる面々が集まるクラスで。勉強嫌いの私が学校に行くのが楽しみだと感じられるほどでした。今は3月で終わりになるのだと寂しく感じます。

「3年間は長いですが、のんびりやりましょう」と担任のコメントがHPに載っているのを最近見つけました。確かに長いですが、過ぎてしまつと「もう終わりか」と短く感じます。在校生の皆さまには是非長いと感じているその時を楽しく過ごせるスクールライフをお送り下さい。赤点が多くても、勉強が嫌いでも、クラスメイトや先生達に支えられ刺激され楽しませてもらうと、私みたいな人でも卒業出来るようになります。

三年間を振り返って



D組 原 ふみ子

人間は脳の全体の5%位しか使っていないそうです。何かの本で「身体も頭も使いきつて死にたい」という言葉に出会い、「だよね」と65になろうとする年に入学しました。若い頃勉強が好きだった訳でもないごく普通の強が好きなお嬢さんです。でも入学してからは大変でした。テストでは、脳の可塑性に期待し、すぎるような日々を送りま

げた。実技は、一年の時、娘にやっであげると「これでお金取るんだ」のキツイ

言葉。でも今では熱意ある先生方のご指導のお陰で疲れるとやっけて欲しいと言うようになりました。昔から人を癒やす仕事が出来たい、又、生涯現役でありたいと思つていましたが、70を目前に夢に近づけることができなくなりました。いくつになっても思い切つて一歩踏み出すと、こんなにも多くの出会いがあり世界が広がるんだと、行動することの大切さを実感しています。熱意ある授業をして下さつた先生方、又クラスの皆さん、それから指圧を学ぶことで知りあふことのできた先輩、皆さんのお陰で本当に楽しい三年間でした。ありがとうございました。

同窓会会長賞を受賞して

天命を信じて 人事を尽くせ!

3D組 吉富 和徳



〔卒業式が
終わり、クラ
スメイトと
祝杯を上げ、

ベッドへ倒れ込む。翌朝、身を清め、一人静かに同窓会会長賞の箱を開け思った。(泣けた...)「俺はこの学校に入って良かった!」

直感を信じ、情熱のオモムクママ二次募集の願書を提出したあの冬を思い出す。過去は振り返らないと決め生きて来たが、せっかくな機会だ。先生方やクラスメイトの言葉を書き留めた。指圧メモを開き、天命を信じて人事を尽した3年間を語ってみたいと思う。)

はじめまして、このたび川原同窓会長より名譽ある同窓会会長賞を頂き、誠にありがとうございます。キャッチフレーズは、杉山和一の「和」、浪越徳治郎先生の「徳」で「カズノリ」。指圧の申し子です。私の天命は「指圧で世界平和!」徳治郎先生からのメッセージ、青

く美しい地球の置時計を拝観し、改めて確信致しました。



介護の仕事しながら、人生を賭けての学生生活。いきなり心が折れました。教科書を買に行った夜、坊主頭の青年に「委員長ヨロシク!」と言。

(何で学生から指名されるんだ?) 後に担任の渡辺和雄先生と知りました。(組織を飛び出し、指一本の勝負に出たのに...)「出来ない事はしないが、ベストを尽くす」の思いで続け

た委員長。やった事は、クラスメイトの為に一肌脱いだ2年次の女装コンテスト。実技服透ける問題へのメッセージでもあったのです。もう一つは、寒い空調対策の為、家から担いだマイナスイオン扇風機...。(少しズレてました。)

入学前に決めていた事は只一つ。皆勤賞を取る事! 入浴介助後、校舎へ向かう坂道、46歳にはキツかった。たった一人の「安藤坂46」、孤独な戦いだっただけ。座学で心がけていた事は、授業中絶対に眠らない事。やっぱり受け手の姿勢が大事。少しでも良い授業をして頂こうと、最前席でがんばりました。「皆勤取って国試に落ちたら前代未聞。その時は先生全員クビだ!」そんな思いでした。

実技の授業を通して思った事。それは、指圧って恐いなって事です。圧に全人格、人間性がモロに出て誤魔化しが効かないからです。1年の頃は手順が覚えられず、2年になっても筋肉やコリが分ならず、心臓バクバクで、チェリーな心でした。他者と比べてすごく落ち込む事もありました。その後、良い縁もあり、修練会や外部の勉強会

へ参加する事で、指圧(人格)を少しずつ磨く事が出来ました。(不器用でちよっぴり人見知り、甘い指の僕はソフトな圧が浸透する、シンプルな指圧で勝負します。)
「誠実・真面目・丁寧」。小手先に走らずコツコツと。しゃべるのが苦手なので、指でメッセージが伝わるように。臨床実習の頃には、あらず不思議、受け手の心(反応)が分かって楽しくなってきました。

伏臥位肩甲下部をひたすら続ける事での指作り。少しずつ力の抜けた施術が出来るようになって来たのでしよう。修練会で先生からほんものの指圧を受けたのも勉強になりました。後輩の方には他人と比較せず、他人から学ぶ姿勢で、日々がんばってほしいです。

浪越での3年間で分かった事。それは指圧って奥が深いから楽しい。自分にはまだまだ伸び代があるって事です。(50歳近いのに!) 私と言う人間はまだ信用出来ませんが、学んで来た指圧は信じられます。これから指一本で勝負に出ます。このドキドキは不安か? ワクワクか? 「指一本で食べて行けるのか?」不安への対策は

一日一食で出費を減らす事と、基本指圧を崩さない事で対応します。浪越指圧を受け継ぐ者として先輩方へ...。もし引退される時はお客様を紹介して下さい(笑)。私は百歳まで現役を続けます。永遠の未完成ですが、「指圧で世界平和」を目指してがんばります。御指導宜しくお願い致します。

これから現場に出ると心が折れる事もあるでしょう。「心は折れても、この指は折れないぞ!」もし指が折れてしまったら...。日本指圧専門学校の間をくぐりに来たいと思います、その時は先生、あいさつだけ、させて下さい。

これから指一本で大海原に出ますが、帰る港が出来た事、本当に嬉しく思います。これからの人生、指圧讃歌の歌詞のように、我を忘れて押し続ける、母ごころをひびかせる、ほんものの指圧師になります! 最後に、3年間を終え、これからの目標を川柳風に...。ふりむくな! 心を開いていま出来る事!

新入生の(60期)誓い

A組 稲場一乃

平日は企業に勤める傍ら週末は家業の手伝いと多忙な日々を過ごしてきた私は、やがて体調を崩し通院するようになり、治療を受けることで「人の手に勝るものはない」ことを体験しました。人の手には「気」という不思議なパワーが宿っているからではないかと。通院がきっかけで始めた知人の整骨院の手伝いでも、手を介して伝わる見えないパワーが悩み多き人たちの身も心も元気に幸せにしてあげられるところを何度も目に

にし、「いつの日か私もこの世界に身を置きたい」と願うようになりました。

長年勤めた会社員としての人生に別れを告げ、これから始まる学生生活を目前にし、とても緊張しています。記憶力の衰えに対する不安は拭いきれないものの、必ずや3年で卒業と

国家資格を取得し、技術は勿論のこと、「患者様にとって心地よい距離感を提供できる治療家・機能訓練指導員」を目指し、寝たきりゼロ社会へ少しでも貢献できるよう精進したいと考えています。

B組 松村 幹子

この春、晴れて日本指圧専門学校へ入学させて頂き、新たなスタートラインに立つ事が出来、大変感謝しております。

私が指圧師を目指したきっかけは家族の看護や介護の経験からです。指圧を通して時に過酷だった闘病生活を支える事が出来ました。

また私自身も指圧をする事によって日中の疲れを癒やし明日への活力を得る事が出来たという経験を通して、指圧師の仕事は生涯を通してやり甲斐がある誇れる仕事だと確信し

ました。

三年間は長いようで何かを学び習得するにはとても短い時間です。一日一日を惜しんで積極的かつ貧欲に勉学に励み知識を吸収し技術を習得していきたいと強く思っています。

ブレない目標を持ち続ける事、諦めず継続する事、そして医療人としての責任をしっかりと自覚し、知識を学び技を磨き、指圧師としての誇りを胸に社会に堂々と羽ばたけるよう三年間の学生生活を頑張りたいと思います。

C組 能登 優次

この春、日本指圧専門学校に入学させていただけのことを嬉しく思います。

私は、幼少の頃にマッサージが上手と両親に褒められ、将来はマッサージ師になると小さな夢を抱いていました。そして、歳をとるにつれその夢の形が少しずつ変化していき、社会に出た時には柔道整復師という資格を取得し、接骨院に就職しました。しかし、働いているうちに昔の夢

と今の自分の仕事の間に差異を感じ、もう一度マッサージ師を目指したいという思いが大きくなりました。そこで、新たな一歩を踏み出すためにこの専門学校の門を叩きました。

今まで寄り道をしていた分、遅れを取り戻すために新たな学校生活では今までの学生時代のように、なんとなく生きるのではなく、自分を厳しく律し、一つ一つ目標をしっかりと定め、後悔だけはしないように励んでいきたいと思えます。

D組 森岡 健

私の叔父と叔母は本校の卒業生なので、指圧師としての仕事の喜びを私が子供の頃より聞いていました。

患者さんのつらい痛みを緩和して、とても喜ばれる仕事だと聞かされていたので、私の将来の仕事の選択肢のひとつとして常に指圧師への憧れは有りました。

実際に私が首を痛めて手にしびれが有り毎日がつらく痛みを我慢していた時期には、指圧に助けられました。人生の折り返し地点をすっきり過

ぎてしまい、随分と遠回りをしました。学校に入学し、スタート地点に立てた喜びを感じています。

遠回りした出遅れをカバーするよう一日いちにちを大切に、多様な仲間と学生生活を満喫したいと思います。

これから教えて頂く知識や技術を修得し、実社会に出た時に患者さんから信頼される指圧師になれるよう日々精進していこうと思えます。

ハワイ研修

ハワイ解剖実習に

参加して

59期 清水健太

始めに、海外に行った事のない私にとって、今回のハワイ研修は解剖学の理解の深度を上げると共に、初めて見る文化や景色に触れた貴重な経験でした。ここから先はそのレポートになります。

一日目。春が近いとはいえまだ肌寒さの残る日本から、探究心という荷物を持って私達は飛行機に乗り込みました。実に十時間あまりのフライト。腰が痛かったのを覚えています。到着後はハワイの名所を観光しました。特に樹齢百三十年以上もある大木を目にした時は、自然の力強さというものを感じました。

二日目は自由行動。ホテルの朝食バイキングでお腹を膨らませ、時差ボケもあり二度寝した後、私と同室のもう一人は町を見て回りました。聞こえてくる言葉、店の看板、昼に入ったレストランのメニューの表記。そのほとんどが英語で、ここは外国なんだなあという実感を強くしました。後、食べ物の味が濃かったり量の多さに驚いたりしました。

そして三日目から五日目はいよいよ解剖実習です。いつも平面で見ている筋肉や臓器を立体で観察するのはとても興味深く、胸が高まりました。解剖の際には

メスを使うのですが、この切れ味は感嘆する程良く、夢中になって作業しました。当時考えていたよりも多い脂肪組織をはぎとると、光沢のある筋膜が覗き得も言われぬ美しさに何度感動の声を上げたか分かりません。他にも肝臓と心臓が思った

いたより大きくて、こういうたくさんの改めてを学び、研修の有意義さを感じました。

六日目。最後の自由行動では、世界一の朝食で有名なパンケーキに舌鼓をうった後、ショッピングセンターや動物園を周り、羽を伸ばしました。惜しむらくは水着を持っていかなくて海に入れなかった事です。

こうしてハワイ研修は幕を閉じました。自由時間も二日あるので、単純にハワイに旅行したい人にもおすすめできる内容だったと思います。



第16回日本指圧専門学校 ハワイ大学解剖研修
2017年3月18日

ハワイ解剖実習に参加して

59期 美女平 知佐

今がチャンスだ。行ける時に行こう。と思い今回のハワイ解剖実習に参加しました。

自由行動が2日間、解剖実習が3日間とボリュームのあるものでした。英語が話せない私ですが、ハワイ大学には日本人の先生もいらっしやい

葉の壁に煩わしさを感じる事はありませんでした。実際メスを持つて解剖する事に緊張もあつたせいか最初は気分が悪くなりましたが、午後休憩を挟んだ後は、体調は回復し実習に取り組み事が出来ました。

最初に筋の観察を行いました。大きさや厚さ、左右の差など教科書では分からない部分を見る事が出来ました。特に大臀筋は思っていた以上に厚く大きなものでした。起始停止が分かれば作用が分かる授業でも習いますが、実際に見る事ですんなり頭に入ります。続いては神経

の観察。脊髄の中まで見る事ができ、それは日常では触る事の出来ないもので、とても貴重な体験が出来ました。特に腕神経叢の説明は分かりやすく素晴らしいものでした。最後は臓器の摘出。人それぞれ大きさの違いに驚きました。疾患によつて変わるのですが、ご献体は男女とも拝見しましたが必ずしも男性だから大きいというわけではありませんでした。なるほど、と思う事が多い実習でした。ベテランの先生方でさえ初めて見るような腫瘍があり、筋も疾患も人それぞれ違うことがある、と思いました。

最初から最後まで1日6時間みっちり教えて下さった先生方に感謝です。自由行動日ではワイキキの観光スポットに行きました。少し外れたお店に入るハワイは少しの英語と勇気で充実感を味わう事が出来ます。

実際に体験してみたいという大切事は、私にとつてこのハワイ解剖実習は有意義な時間となりました。



日本指圧専門学校治療部の今

浪越指圧治療センターの歴史



56期 横塚 秀樹

現在の浪越学園日本指圧専門学校付属の浪越指圧治療センターは1939年（昭和14年）浪越指圧治療院（写真3）としてここ傳通院にて開院しました。翌年1940年（昭和15年2月11日）日本指圧学院を設立。本校は今年で77周年を迎えます。

木造だった校舎は1968年（昭和43年）現在の本校舎（写真4）に変わりました。この頃は1階に受付・ロビー・お風呂とサウナ、2階に治療室があり、ロビーにはテレビがあったそうです。施術用の布団は22枚 治療部員は約20名も在籍されていたそうです。そして、今の第3実技室には当時

学生寮があり、寮生が受付を担当

していました。数多くの著名人を施術されていた徳治郎先生ですが、その際にはパーテーションで仕切りがあったそうです。当時の患者様には朝から夕方まで長く滞在する方が多くいたそうで、まるで現在のスパの先駆けのようだと感じました。今でも実際に、当時から来院されている患者様より、お風呂があった時代を懐かしがられる話を聞くことがあります。

その当時治療院で働いていた先生に話を聞くと、日本指圧専門学校の付属の治療院はこちらの他にも有楽町と渋谷にもあり、有楽町は全て個室、渋谷は大部屋のスタイルだったそうです。

（写真1）は当時の本校舎治療

室の風景で、徳治郎先生が治療部に指圧の指導を行なっている様子です。私は今、徳治郎先生のお孫さんである浪越雄二先生に同じように指導を受けていることに日々、感謝感動致します。これらの写真を見てみると、伝統・歴史は繋がっているんだなと身が引き締まる気持ちになります。

（写真2）は徳治郎先生が乳児を施術している貴重な一枚です。

その後、1990年（平成2年）に、日本指圧専門学校の修業年限（学校養成施設認定規則による）が2年間で3年間になった為、教室の増室に伴い治療室が1階に移動し縮小。

2013年（平成25年）に本校舎の改修工事を経て現在に至ります。（写真5）

治療院のマットは特注の低反発マットに代わり、より快適になりながらも、昔と変わらず布団での指圧治療を続けています。各マットはカーテンで仕切れ個室（写真6）も設けられ、



写真2



写真1



写真4



写真3

プライベートも重視できる施術室になっています。

来院される患者様は浪越の基本指圧(全身指圧)を好まれる方が多いのですが、現代社会からくるストレスまたは、心因性の症状を訴える患者様もみられます。

現在はベテランの先生から、57期生までの治療部員が在籍しています。

49期生の女性の先生が出産のため退職しましたが、治療師を続けたいため、今また復



写真6



写真5

職しており、現在の浪越指圧治療センターは女性のライフワークにも即した治療院になっています。

浪越指圧

「糖尿病に対する指圧の効果」を 発表した人体科学会第26回大会

24期 金子 武良

二〇一六年十二月三日（土曜日）四日（日曜日）、京都・稲盛記念会館に於いて、人体科学会第26回大会が行われた。

私は、一日目に一般演題として「糖尿病に対する指圧の効果」を発表した。今回取り上げるのは、2型糖尿病である。糖尿病患者の中に、糖尿病薬を長年飲み続けていても、中々薬の効果が出ずに血糖値が下がらないで困っている患者がいる。この様な患者に対し、ソフト指圧によって起こる体の変化を説明した。

①筋肉の弾力性が、フニャフニャで柔らかく弱い場合は、患者本人が足に力が入らなく歩行しにくい。また、筋肉が硬い場合は、関節の可動域が狭くなり歩行に安定性を失う。

②発汗作用について、消化能力が劣って来ると、汗のかく部位に変化が出る。顔と頭に汗が多い場合、手のひらや足の底に汗が多い場合、体幹部に汗が多い場合、全然発汗作用の無い患

者の状態の違い等を説明した。

③身体の冷えとほてりについてや、体温変化についても説明した。

①②③に対して、指圧師の考え、観察方法、血液循環の改善から来る身体の変化や治療効果の出かた等を詳細に説明した。①②③に対しての変化が患者自身に分かる様になると、患者本人が治療に取り組む様になり、食事療法や運動療法も積極的に行う様に変化をし、糖尿病の薬の効果も出やすくなる。

今大会時に、ソフト指圧について説明した。指圧の目的は、身体の血行を良くする事である。糖尿病患者は、血管が弱っているので、指圧師が圧を患者の身体に押し込むのではなく、患者自身の身体が圧を引き込む様に指圧する。これによって、患者の身体に負担を掛けずに治療効果上がる、と考え

会場からの質問として、「何故、筋肉が柔らかいから歩行しにくいかを説明して欲しい。」や「ソフト指圧が出

来る指圧師を増やしてほしい。」という意見が出た。これらの意見も参考にしながら、今後より良い指圧を目指して行きたい。

今回の講演後に、複数の方々から「分かりやすい説明ありがとう。」「指圧の効果が分かりやすく、血液循環の大切さを改めて感じた。」等の意見が聞かれた。

会場からの声

脳科学者 河野貴美子

指圧に関しては全く素人で、患部を強く押し痛みやこりを取り除く方法くらいに考えていたので、やみくもに強く押すものではないこと、糖尿病のような、素人目には指圧とは全く関係なさそうなものにも顕著な効果が見られることに、まず驚きました。医者は単純に投薬を考えますが、筋肉の硬さや発汗部位の違いなど、全身の状態をその僅かな変化から見極め、圧の掛ける方だけで調整できてしまうのは驚きです。各部位の変化とともに全身の変化であれば、脳波にも違いが現れていると思われませんが、その僅かな変化をデータとしてクリアに取り出すことが難しく、なかなか証明に至らないのもどかしいところです。

日本指圧専門学校

50期卒業生 市原 佑里

初参加です。会場の「一言も聞き漏

らすまい」という静かな熱気が凄かったです。金子先生の講演で、今まで自己満足の施術をしていたと気づきました。力のない部位に対する施術や、患者が納得出来る様に説明できる技術。会場での質問にもありましたが、それらを身につけた指圧師の少ない事とあったら！（もちろん私も含めて）。真に患者の体に寄り添った施術、ソフト指圧を目指したいと感じました。

日本指圧専門学校

52期卒業生 岸本 稲子

人体科学会の大会に、参加2回目となりました。初参加との違いは、捉え方や聴き方がすっかりして来た自分に驚きを感じました！

金子武良先生の研究発表にもありましたが、自然治癒力や免疫力を高める為に、受ける患者に負担を掛けずに身体全体の体液循環（血液・リンパ液等）を良くする事を目的とする指圧、ソフト指圧の言葉は、会場の皆様にも大きく共感を持っていただけました！

今大会内で、金子先生と私達指圧師に対してソフト指圧による励ましや激励が多く聞かれました。私自身、鈴木林三先生が提唱する『基本指圧は、力を抜いた押し方で無く、力が抜けた押し方が基本指圧である。』を今後も学び、大勢の身体に不調で困っている方々のお役に立ちたいと考えています。

鍼灸師 増澤 利紗

糖尿病患者において、鍼灸治療は感染症などの危険性から敬遠される事が多いです。しかし、糖尿病の原因にもなる「高血圧」、「高血糖」などは、いずれも「血」に関連し、鍼灸の得意分野であり、血液の流れを整え、瘀血の排出、血流や血管の運動を司る自律神経を整える事を目的とします。そもそも、糖尿病で起こる「壊疽」も、末梢の血流が悪くなる事に起因します。そこまで進行する前の鍼灸治療は大変有効であると考えられます。

今回、金子先生の発表で感じた事は、指圧治療の方向性が鍼灸治療とも同じ方針であると言う事です。体温の上昇筋肉状態の改善、つまり血流の改善であり、自律神経バランスの改善です。先生が報告された内臓機能の改善、薬の効果が見られるようになった事に繋がっていると思います。筋肉が「フニャフニャ」でも硬すぎでも歩行が困難だった患者に改善が見られた事も、自律神経が整う事や血流改善による筋肉バランスの改善に繋がったのではないかと思います。興味深い点は、足の痺れによるタイプで、改善すべき原因の違いと、治療期間に差がある事。回復のステージで汗の発汗部位が変わってくるという事です。それから先生の指圧がソフト指圧である事です。これは必ずしも強刺激の効果ではない事、血管の脆さを考慮するのみでなく、自律神経の改善が効果的なのではないか

と考えました。

今回、人体科学会の学会に参加して様々な療法の情報交換の場はとても新鮮でした。今後も積極的にこのような場があれば大いに臨床に役立つと思います。金子先生の結語にあるように、医師や栄養士の治療と合わせて、患者の状態に適切な治療方法を考えていきたいと思っています。

指圧による脳波検査報告

二月七日(日曜日)、河野貴美子先生(日本指圧専門学校同窓会 平成二十六年年度記念講演の講師)にお願いして、指圧による脳波の変化を調べて頂いた。今後は、指圧も科学的立証が必要だと考えるからである。脳波には、デルタ波(深い睡眠)やシータ波(浅い睡眠)やアルファ波(閉眼覚醒時)やベータ波(思考活動時)が有り、身体の状態によって脳波に変化が出る事や、人間が歯を食い縛るとその大きな筋電図により波形に乱れが現れる事や、目を開いた状態と目を閉じた状態の違いや、頭を動かしたり考え事をする事と脳波に変化が出る事等を教わった。その後、鍼灸師二名と鈴木林三先生(8期)と私が被験者に施術をした。脳波変化を見ながら指圧をし、分かった事を記す。

①足背部の指圧時に、圧を入れるタイミング(呼吸に合わせて)や圧を入れる部位(筋肉・神経・血管)や深さ

や角度調節によって脳波にアルファ波やシータ波が多く出る。それは、通常の指圧時に患者から聞く、「今指圧を受けている所は、前頭部に響きます」、「今指圧を受けている所は、後頭部に響きます」と患者が言う部位と一致しているように見えた。左右の足背部を指圧すると、左右の前頭葉や頭頂葉や側頭葉や後頭葉の脳波に変化が現れた。

②呼吸のテンポが緩やかになった。これは指圧をする事により硬い筋肉が緩み、呼吸をしやすくなったと考えられる。

四月十日(日曜日)、河野先生にお願いして、二月七日に行った指圧治療や鍼灸治療による脳波の変化についての結果報告会をした。

今回の測定方法では、頭部に脳波測定用の十六本の電極が装着されており、施術は仰向けで行った。安静状態を表すシータ波やアルファ波が身体どの部位を指圧した時に出るかを調べた。

体幹部や上肢や下腿部よりも、足背部からの指圧時が一番シータ波やアルファ波が多く出た事から、今後の指圧に於ける末端部の大切さが分かった。指圧師各自の技術力によって結果は異なると思うが、精神的に疲れている、うつ症状の患者を指圧する時の参考になると考える。

施術した指圧師の声

8期卒業生 鈴木 林三

「浪越指圧では前頭部と腹部の指圧が一番大事だと教えられている。今回腹部だけの指圧でアルファ波の出現が認められた。又かなり固く凝っていた腹部がふあつとゆるみ出した時はシータ波も出現した。これはかなりリラックスしたことを示している。さらに様々な部位の指圧と比較しながら、前頭部と腹部の指圧効果を丁寧に調べていくことが重要と思われた。」

今回の事をきっかけに、今後多くの指圧師による色々な方面からの研究が進み、科学的立証に繋がると良いと思う。

最後に、指圧師の技術向上や治療師の交流会を年に数回、江戸川橋指圧センターで行っています。関心のある方は、江戸川橋指圧センター(鈴木林三期)に直接連絡下さい。電話番号03:5261:1876です。

人体科学会の今年度年次大会は、十月二十一日(土曜日)二十二日(日曜日)に上智大学(四ツ谷)で行われます。大会テーマは、「身体と教育」です。関心のある方は、ホームページで「人体科学会」から検索して下さい。

側頸部・上項線部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果

◆日本指圧専門学校……………

学 生 田辺あゆみ、安保 勝、古明地由有子、中村 愛、
三神恭平、清水嗣仁、菅谷 愛
指 導 教 員 渡辺和雄、田中智子、本多 剛、黒澤一弘、石塚 寛、
大沢秀雄（筑波技術大学）、森 英俊（筑波技術大学）

I. はじめに

指圧療法は自律神経機能の改善や筋緊張緩和など、様々な生体反応を示す事が知られている¹⁾。本校では、自律神経機能に及ぼす指圧刺激の効果について、研究を進め、検討を重ねてきた。これまで、健常者への指圧刺激によって、心拍数は減少^{2,3)}、血圧は減少²⁾、筋血流量は増加³⁾、胃電図ドミナントパワーは上昇^{5~7)}を報告してきた。これらの報告から、指圧刺激によって種々の自律神経機能に影響を与えることを明らかにしてきた。

瞳孔は自律神経支配を受け、自律神経機能の指標の一つとして用いられることから、瞳孔直径は指圧刺激によって自律神経を介し反応が起こることが予想された。そこで、2010年より、瞳孔直径に及ぼす指圧刺激の効果の検討をし、腹部、前頸部、仙骨部、頭部、前腕部、肩甲間部への指圧刺激によって瞳孔直径が有意に縮小することを明らかにした^{8~13)}。一方、下腿外側部への指圧刺激によって瞳孔直径に有意な縮小がみられないことも明らかにした⁹⁾。

今回は、これまでの報告を踏まえ、今まで検討していない側頸部・上項線部を指圧刺激部位とし、瞳孔直径の変化について計測した。また脈拍数・血圧も同時に計測したので報告する。

II. 実験方法

1. 対象

研究対象者は本校学生及び教職員の健常成人、計35名で男性24名・女性11名（19～63歳、平均34.7 ± 11.2歳）で、事前に十分に実験内容を説明し、同意を得た上で実験を行った。

2. 実験期間・場所

2016年4月16日から7月13日まで、本校の基礎医学研究室にて行った。

実験環境は室温 22 ± 2.0℃、湿度 79 ± 15.0%、照度 100ルクスであった。

3. 測定方法

仰臥位にて、両眼電子瞳孔計（ニューオプト社製、ET-200、図1）を用いて瞳孔直径の変化を測定した。血圧及び脈拍数は連続血圧計（メディセンス社製、MUB101、図2）を用いて右中指又は右薬指より導出した（図3）。

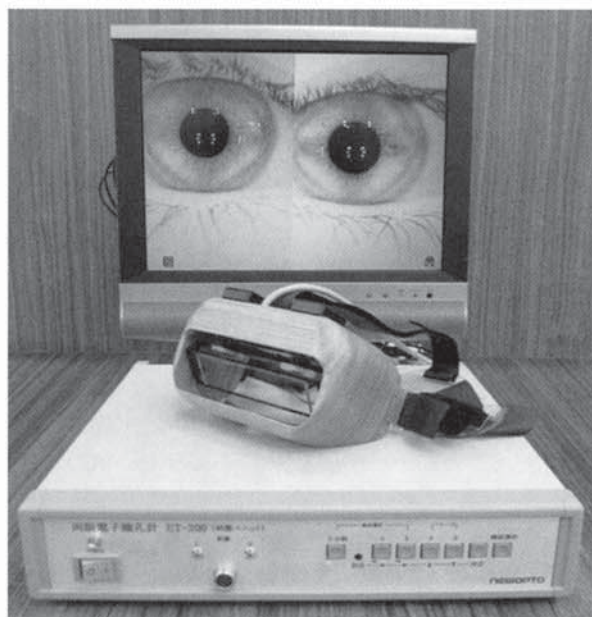


図1 両眼電子瞳孔計（ニューオプト社製 ET-200）

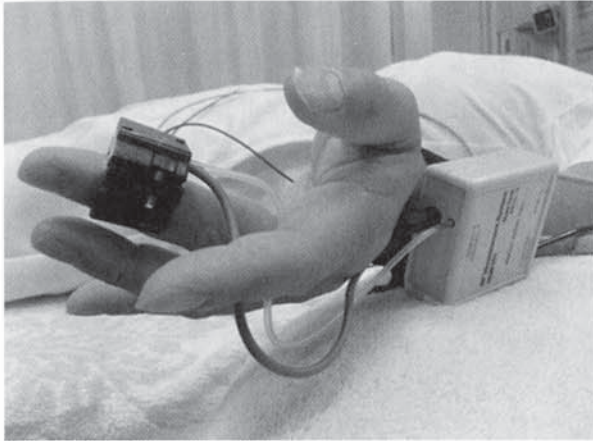


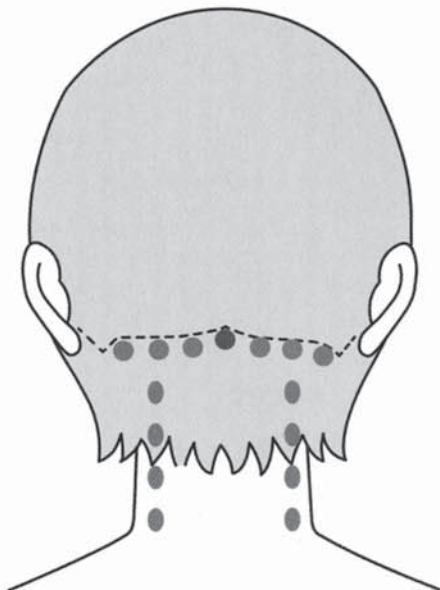
図2 連続血圧計 (メディセンス社製、MUB101)



図3 実験風景

4. 刺激方法

刺激部位は仰臥位にて、側頸部左右各4点、上項線部左右各3点、延髄部(後頭窩)1点に行った(図4)。1点圧3秒を通常圧法にて、3分間繰り返し施術を行った。圧刺激は通常圧法(漸増・持続・漸減)にて、快圧で行った。

図4 刺激部位
側頸部左右各4点、上項線部左右各3点、後頭窩1点

5. 実験手順

測定前に研究対象者に体調や眼の疾患などについて問診した。

実験手順は仰臥位で指圧刺激前3分間(刺激60秒前:Cont.)、指圧刺激中3分間(St.0・St.30・St.60・St.90・St.120・St.150)、指圧刺激後3分間(Af.0・Af.30・Af.60・Af.90・Af.120・Af.150)の順序で行った(以下、刺激群)。また、対照群として刺激群と同様に9分間の安静を行った(以下、無刺激群)(図5)。これらは日を変えて実施した。

瞳孔直径の測定は、マーキングを研究対象者が見える位置に固定し、実験中に目視させた。



図5 実験手順

6. データ解析

刺激前60秒(Cont.)をコントロール値として、刺激前(Cont.)、刺激中(St.)及び刺激後(Af.)を30秒間隔で解析した。統計解析はIBM SPSS statistics Ver.22を用いて行った。

7. 統計処理

瞳孔直径・脈拍数・血圧をBonferroni多重比較で混合モデルによって線型解析した。群間の比較は交互作用で解析した。有意水準は5%とした。

Ⅲ. 結果

1. 瞳孔反応について(図6)

右側瞳孔反応では、刺激群がCont.に比べてSt.150($p=0.031$)、Af.30($p=0.002$)、Af.60($p<0.001$)、Af.90($p<0.001$)、Af.120($p<0.001$)、Af.150($p<0.001$)で縮瞳した。無刺激群は、経時的な変化がなかった。刺激群と無刺激群の経時的な変化の比較で相殺効果を示した($p<0.001$)。

左側瞳孔反応では、刺激群がCont.に比べてAf.30($p=0.011$)、Af.60($p=0.001$)、Af.90($p<0.001$)、Af.120($p<0.001$)、Af.150($p<0.001$)で縮瞳した。無刺激群は、Cont.に比べて経時的な変化がなかつ

た。刺激群と無刺激群の経時的な変化の比較で相殺効果を示した ($p<0.001$)。

2. 脈拍・血圧について (図6)

脈拍数では、刺激群が Cont. に比べて St.0 ($p=0.018$)、St.120 ($p=0.004$)、St.150 ($p=0.01$)、Af.30 ($p=0.025$) で脈拍減少した。無刺激群は、経時的な変化がなかった。刺激群と無刺激群の経時的な変化の比較で相殺効果を示した ($p=0.011$)。

収縮期血圧では、刺激群・無刺激群に Cont. に比べて経時的な変化がなかった。刺激群と無刺激群の経時的な変化の比較で交互作用を示した ($p=0.002$)。

拡張期血圧では、刺激群が Cont. に比べて St.120 ($p=0.01$)、Af.30 ($p<0.001$) に血圧の低下を示した。無刺激群は、Cont. に比べて経時的な変化がなかった。刺激群と無刺激群の経時的な変化の比較で相殺効果を示した ($p=0.045$)。

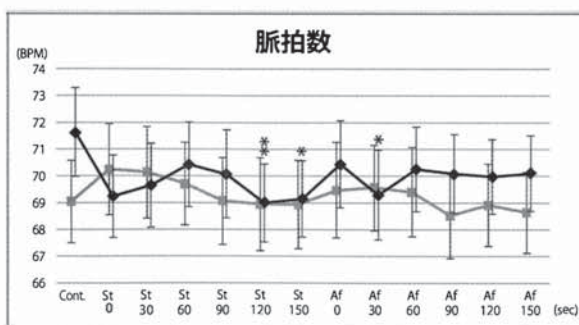
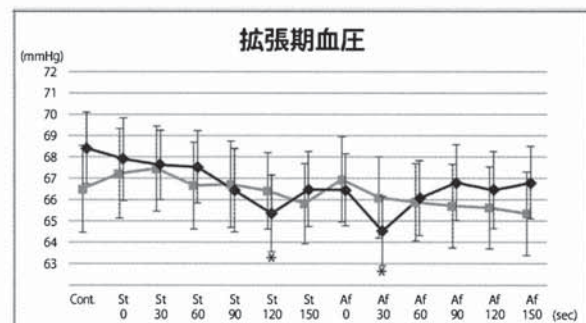
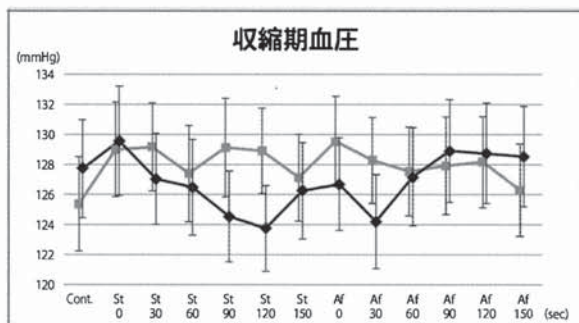
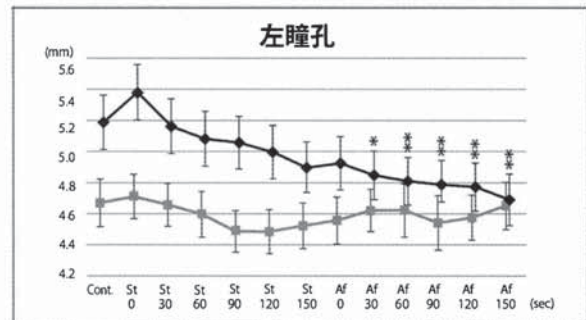
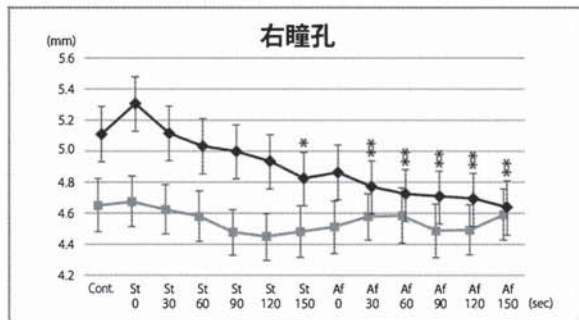


図6 側頭部、上項線部への指圧刺激による瞳孔直径、血圧、脈拍数の変化

縦軸は瞳孔直径 (mm)、横軸は時間経過 (sec) を示す。各グラフの Cont は刺激前 (control)、

St は刺激中、Af は刺激後を示す。

n=35、mean ± SE

刺激群 (◆)、無刺激群 (■)

※ $P<0.05$ 、※※ $P<0.01$

IV. 考 察

今回の実験では、側頸部・上項線部への指圧刺激は瞳孔直径の縮瞳、脈拍数の減少、拡張期血圧の低下を示す結果となった。

痛み刺激によって散瞳が起こることが報告されているが¹⁴⁾、本実験では痛みを伴わない快圧で指圧刺激を行った為に散瞳は認められなかったと考えられる。

瞳孔直径は交感神経（頸部交感神経）支配の瞳孔散大筋と、副交感神経（動眼神経）支配の瞳孔括約筋によって支配される。本実験で観察された指圧刺激による縮瞳反応は、瞳孔括約筋支配の副交感神経の興奮、瞳孔散大筋支配の交感神経の抑制の両方またはどちらか一方の結果生じたと考えられる。

高位中枢の関与する瞳孔反応においては交感神経が関与することが指摘されてきたが^{15, 16)}、Ohsawa Hら¹⁷⁾、志村ら¹⁸⁾は、麻酔下のラットへの鍼通電刺激やピンチ刺激による反射性散瞳は頸部交感神経切断によって影響されないことから副交感神経が抑制されて散瞳が起こることを確認しており、体性感覚刺激に対する瞳孔反応において副交感神経が重要な役割を果たしていることもまた報告されている。

昨年までの報告では、腹部、前頸部、仙骨部、頭部、前腕部、肩甲間部への指圧刺激によって瞳孔直径の縮小が有意に起こることを明らかにしており^{8~13)}、また下腿外側部への指圧刺激によって瞳孔直径に有意な縮小はみられず⁹⁾、部位によって異なることが示唆されている。今回の側頸部・上項線部への指圧刺激も同様に縮瞳反応が有意に起こることが示された。瞳孔反応に関して、指圧刺激により副交感神経の興奮を生じさせる可能性が示唆された。

V. 結 語

健常成人と対象とした今回の実験で以下のことが明らかになった。

側頸部・上項線部への指圧刺激は、刺激中、刺激後に瞳孔直径が縮瞳、脈拍数が減少し、無刺激群との比較で相殺効果を示した。

拡張期血圧は、刺激中、刺激後に低下し、無刺激群との比較で相殺効果を示した。収縮期血圧は経時的な変化はみられなかった。

以上から、安静時よりも側頸部・上項線部への指圧刺激が自律神経機能への影響があった。

稿を終えるにあたり、本実験に協力して頂いた本校学生及び教職員諸氏に心より感謝の意を表す。

引用文献

- 1) 森 英俊 編著：図解基本術式あん摩・マッサージ・指圧による全身調整、東京、医歯薬出版、2006
- 2) 小谷田作夫、他：指圧刺激による心循環系に及ぼす効果について、東洋療法学校協会学会誌、第22号：40～45、1998
- 3) 井出ゆかり、他：血圧に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌、第23号：77～82、1999
- 4) 蒲原秀明、他：末梢循環に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌、第24号：51～56、2000
- 5) 佐藤広大、他：下腿部指圧刺激による胃電図の変化、東洋療法学校協会学会誌、第30号：34-38、2006
- 6) 黒澤一弘、他：腹部指圧刺激による胃電図の変化、東洋療法学校協会学会誌、第31号：55-62、2007
- 7) 加藤 良、他：前頸部指圧刺激が自律神経機能に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第32号：75-79、2008
- 8) 栗原耕二郎、他：腹部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第34号：129-132、2010
- 9) 横田真弥、他：前頸部・下腿外側部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第35号：77-80、2011
- 10) 渡辺貴之、他：仙骨部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第36号：15-21、2012
- 11) 田高 隼、他：頭部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第37号：154-158、2013
- 12) 角本靖司、他：前腕部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第38号：13-17、2014
- 13) 林 勉、他：肩甲間部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌、第39号：83-87、2015
- 14) Oono, S., Pharmacological studies on pupillary reflex dilatation. J Pharmacol., 15, 95-112, 1965
- 15) Ward AAJ, Reed HL: Mechanism of pupillary dilatation elicited by cortical stimulation. J Neurophysiol 9: 329-335, 1946
- 16) Lowenstein O, Loewenfeld IE: Role of sympathetic and parasympathetic systems in reflex dilatation of the pupil. Arch Neurol Psych 64: 313-340, 1950
- 17) Ohsawa H, Yamaguchi S, Ishimaru H, et al: Neural mechanism of pupillary dilation elicited by electroacupuncture stimulation in anesthetized rats. J Auton Nerv Syst 64: 101-106, 1997
- 18) 志村まゆら、大沢秀雄、富田明文、佐藤昭夫：皮膚侵害刺激による反射性瞳孔反応、自律神経、(37)：584-590、2000

学

園

祭



本校の学園祭が、平成28年7月16日(土)に開催されました。

(土)に開催されました。

校庭での模擬店、屋台、坐位指圧、校舎でのフリーマーケットコーナー、チャリティー指圧、喫茶店、大クイズ大会、バンド演奏等・・・

例年以上の盛り上がりを見せ、1日楽しい時間を過ごすことが出来ました。

学校名物ともなった阿波踊り「指圧連」が、さらに熱く盛り上げました。完成度も年々高まっています！また、同時に学校説明会が開催され、本校の特色や授業内容等を受験希望者、指圧に興味のお有りの方々に伝えることができ、非常に意義深い時間となりました。

今年の学園祭は、
7月15日(土)に行います。



した。

今回で12回目になりましたが、楽しみにして下さっている方々の声を聞くと、年々地域に根付いているように感じます。

学園祭委員をはじめとして学生達は各コーナーの充実をはかるべく頑張っております。

お知らせの方、ご入学を考えている方などお誘いあわせの上、是非足をお運び下さい。

最後に、学園祭にご参加頂いた皆様、心より感謝致しますと共に、学園祭を盛り上げてくれた学生達に心よりお礼申し上げます。

寄付金賛助者ご芳名

平成二十八年度 二九九件
一、五〇〇、〇〇〇円

達雄³³ 石田浩³³ 河内誠二

☆五千元

御芳名掲載をもって
御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期(敬称略、順)

④石原博司¹⁸ 原忠雄¹⁸ 井
芹幸夫²⁰ 海上富雄²³ 岡田
(山田)十喜子²⁵ 鶴見せつ
子²⁸ 宮城勝次郎⁴⁰ 小谷田
作夫⁴⁸ 竹下仁⁵¹ 岡本泰明

☆四千元

②7 佐々木淑公³² 鈴木啓一
③8 田島秀樹

☆三千元

☆六十万一千円
③7(代表)青野利香

①大日方子西² 皿井千代
子³ 田中利⁴ 村越(井上)
てい子⁸ 藤井(亀山)トシ
子⁸ 仁科義介⁸ 藤井正弘

☆一万元

③稲場啓護³ 長崎成洋¹⁷
小林秋朝¹⁷ 今村公樹¹⁹ 池
永卓雄²¹ 西田恒治²³ 赤坂
(柘植)かつえ²⁶ 清重友子

①1 須田麻紗子¹² 柳澤光男
①6 國田(平沼)イト子¹⁶ 入
山君子¹⁷ 平井伸徳¹⁷ 平井
(市川)浩子¹⁷ 齋藤良知¹⁷
戸来みや子¹⁷ 村幸一¹⁹ 舟
津昌亮¹⁹ 小野寺英男¹⁹ 佐
藤玄祥²⁰ 櫛克彦²¹ 相野谷
眞²¹ 服部(町田)青香²² 本
間(石橋)詩朗²² 橋本二郎

☆八千元

⑤小松(古田)豊子⁸ 大村
ミヨ子⁹ 勝尾圭三²⁷ 室岡
和廣³² 石井ヒサエ³⁴ 福島

②3 馬場正義²³ 中村一夫²⁴
加藤辰雄²⁴ 伊藤次雄²⁵ 福
澤章²⁵ 中澤雅啓²⁶ 渡邊力
②7 川畑(川原田)女恵子²⁷
田中克幸²⁷ 浪越雄二²⁸ 畑
中(川原)糸美²⁸ 小澤秀行
②9 関根康博³² 広明文夫³²

☆一千元

川原会長 指圧協会

⑥石原和信⁹ 野口幸子¹¹
小坂八郎¹¹ 村松カチ子¹¹
細谷節子¹¹ 眞間時男¹² 岩
切秀樹¹² 松本(加藤)チヨ
子¹² 白井幸子¹³ 高橋宏¹³
鳥実専二¹⁴ 高柳茂男¹⁴ 萩

☆二千元

宇佐美康夫³⁵ 中山節³⁵ 木
暮晴雄³⁶ 粟村輝子³⁷ 平野
広樹³⁷ 石塚怜子³⁸ 木村龍
一郎³⁸ 狩野かよ子³⁹ 柴田
ひろみ⁴⁰ 西山ゆかり⁴⁰ 田
沢佳世子⁴⁴ 小野朋子⁴⁴ 小
松和幸⁴⁵ 北條崇成⁴⁵ 高内
英美⁴⁷ 芦川洋司⁴⁹ 田中功
④9 大島和夫⁵⁰ 稲場幸夫⁵²
市原佑里⁵⁴ 高島加代子⁵⁵
竹内隆子⁵⁶ 姫路雄紀⁵⁷ 広
瀬孝仁

①小松崎義雄² 小松崎
(黒澤)ツネ⁴ 山川友枝¹⁵
佐藤肇¹⁷ 糸井正子¹⁸ 鎮目
征幸¹⁹ 鶴田志かの¹⁹ 麻生
島勇²² 清水昭三²³ 高橋耕
作²⁵ 糸井主好²⁶ 本間裕³⁰
阿久津とし子³² 内藤甫³⁴
小林強³⁵ 平野晴彦³⁶ 小菅
直人³⁸ 花島宜子³⁸ 岩下禎
夫³⁹ 関裕子³⁹ 佐藤清子⁴³
田中久雄⁴⁴ 休宮清彦⁴⁴ 平
井正子⁴⁵ 山崎陟⁴⁶ 川島健
嗣⁴⁹ 中盛祐貴子⁴⁹ 荒海恵
子⁵⁰ 植松祐輔⁵² 岩井満⁵³
長谷部佳代⁵⁴ 仲津彰利⁵⁶
八本竜司⁵⁶ 角本靖司

原(清水)忠雄¹⁶ 中村由子
①6 濱田洋¹⁷ 萩原嘉寿代¹⁸
鷹木(高橋)陽子¹⁸ 堀江秀
樹¹⁸ 勝沼喜夫¹⁸ 片山晶子
①8 田代陽一¹⁹ 天海誠¹⁹ 青
木宏¹⁹ 千葉主¹⁹ 新村忠志
①9 比留間民子¹⁹ 飯島幸雄
②0 渡部武利²⁰ 石田隆孝²⁰
福田ゆきる²⁰ 小林静佳²⁰
下田(石川)文子²⁰ 伊大知
武²⁰ 青木豊²¹ 渡辺正雄²¹
小川久子²² 熊谷洋二²² 高
木二朗太²⁴ 高野昇司²⁴ 野
末慧八²⁴ 佐藤義男²⁴ 向井豪
愛子²⁴ 前田秀隆²⁴ 向井豪
②5 駒田和男²⁵ 大貫久美子
②5 山田三義²⁵ 工藤文宏²⁵
北村雅彦²⁵ 田島公代²⁵ 関
伊智朗²⁵ 田村元一²⁶ 杉山
保雄²⁶ 東光一²⁶ 笠原正親
②6 佐藤優²⁶ 野口(清水)雅
子²⁷ 内山直行²⁷ 柴田俊久
②7 内城勇造²⁷ 小松せつ子
②8 中島祥景²⁹ 池上文得³⁰
安藤富士男³⁰ 石黒正孝³⁰
福安志泰³¹ 田中伸明³² 小
野紘緑³² 平尾清一³³ 景山
正規³³ 佐藤良一³⁴ 大城裕
子³⁶ 岡崎浩二³⁶ 橋詰兼一
③7 遠藤久孝³⁷ 末永洋子³⁸
本間陽一³⁸ 小林信行³⁸ 松
本喜照³⁸ 寺田(鈴木)かお
り³⁹ 中村和泰³⁹ 百井(玉
野)栄子³⁹ 斉坂京子³⁹ 湯
口信雄³⁹ 鶴田弘二⁴¹ 三村
公明⁴² 金井俊潔⁴² 相澤寛
和⁴² 江藤久男⁴² 阿部伸二
④2 本間博⁴³ 加藤勉⁴³ 柏崎

初子⁴³ 中野俊夫⁴³ 相澤文
隆⁴³ 関口渡⁴⁴ 入江徹⁴⁴ 了
戒正人⁴⁴ 石井勝雄⁴⁴ 市嶋
園子⁴⁵ 小林章一⁴⁵ 鈴木喜
美子⁴⁵ 池田悦子⁴⁶ 重森祐
二⁴⁶ 小野正章⁴⁶ 清野幸夫
④6 岡野昭⁴⁷ 木下真一郎⁴⁷
稲生妙子⁴⁷ 中島寅雄⁴⁸ 松
本修⁴⁸ 後藤政敏⁴⁸ 小松崎
恵市⁴⁸ 水野(佐藤)恵里⁴⁸
星野智⁴⁸ 初澤浩一⁴⁸ 加藤
正毅⁴⁸ 小井川隆⁴⁹ 高木論
④9 月足弘法⁴⁹ 近藤恭史⁴⁹
角伸浩⁵⁰ 藤本かおる⁵⁰ 田
中慶篤⁵⁰ 中西信之⁵⁰ 瀧本
光代⁵⁰ 竹内高雄⁵⁰ 込山哲
郎⁵⁰ 黒沢武志⁵⁰ 小川敬子
⑤0 細川登喜治⁵¹ 佐藤光明
⑤1 田村威樹⁵¹ 岡本京子⁵¹
松村哲也⁵² 立部正則⁵³ 丸
山一郎⁵³ 松田学⁵³ 大久保
潤⁵³ 寺内由香⁵³ 岩田明日
香⁵³ 佐藤重雄⁵⁴ 小野悠一
⑤4 濱田大輔⁵⁴ 熊田(永瀬)
友香子⁵⁶ 大平和雄⁵⁶ 平田
玲子⁵⁶ 関根由記子⁵⁶ 嘉手
莉悟⁵⁶ 遠藤陽子⁵⁷ 神山由
紀子⁵⁷ 嶋田洋⁵⁷ 崎原浩昭
⑤7 渡邊正康⁵⁷ 喜多野智之

日本指圧専門学校第
三十七期校友会様より同
窓会宛てに六〇一、〇〇〇
円の多大な寄付をいた
だきました。誠にあり
がとうございました。

同窓会会長 川原善次郎
(金子智久)

編集後記

新緑が芽吹き、爽やかな春風が心地よく、太陽の日差しも私たちの心を和らげてくれるとつても過ごしやすい季節を迎え、身も心も活動的になつてきますね。

また、新年度を迎え、お忙しい中皆様ご活躍の事と思ひます。

我が浪越学園も4月より新入生をお迎えし、元気に挨拶をしてくる学生達に心引き締まる思いです。また、指圧という手技療法の中の素晴らしい技術を学び、身に付けたいと思われのお知り合いの方々がいらつしやいましたら是非ご入学をお考え頂けますようお願い下さい。素晴らしい環境と、素敵なスタッフがお待ちしております。

今回で同窓会会報誌も第38号を発行するに至ることが出来ましたことを心から感謝致しますと共に、同窓生の益々のご活躍、ご発展をお祈り致します。

同窓会は学生、教職員、卒業生を繋ぐ礎です。「指圧のこころ 母のこころ」を胸に刻みたいと思ふ所存です。今年度も同窓会研修会を2回開催予定です。同窓生の皆様、お誘いあわせの上ご参加下さい。指圧療法に役立つ内容をご用意してお待ちしております。

最後に同窓生の皆様のご多幸をお祈り致します。

同窓会会長 川原善次郎
(金子智久)

日本指圧専門学校同窓会

予算案

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月 31日

収 入 の 部			
	28年度予算	28年度決算	29年度予算
前年度より繰越	5,918,564	5,918,564	5,446,222
入 会 金	1,620,000	1,530,000	1,455,000
運 営 費	1,000,000	968,000	1,000,000
総 会 収 入	620,000	432,000	600,000
預 金 利 息	1,000	29	50
そ の 他 収 入	0	0	0
寄 付 金	900,000	1,500,000	1,000,000
講 習 会 費	0	0	0
収 入 合 計	10,059,564	10,348,593	9,501,272
支 出 の 部			
	28年度予算	28年度決算	29年度予算
総 会 費	1,700,000	1,651,899	1,700,000
講 習 会 費	800,000	378,098	500,000
会 報 発 行 費	1,500,000	1,343,556	1,500,000
通 信 費	700,000	465,780	600,000
印 刷 費	50,000	48,000	50,000
渉 外 費	200,000	140,600	200,000
交 通 費	300,000	257,750	300,000
慶 弔 費	100,000	30,000	50,000
事 務 用 品 費	30,000	19,199	30,000
雑 費	50,000	48,602	50,000
情 報 管 理 費	300,000	53,444	200,000
役 員 会 議 費	50,000	26,920	50,000
設 備 使 用 料	36,000	36,000	36,000
予 備 費	100,000	0	50,000
新 規 事 業 費	500,000	402,523	500,000
事 務 活 動 費	250,000	0	50,000
支 出 合 計	6,666,000	4,902,371	5,866,000
次 年 度 繰 越	3,393,564	5,446,222	3,635,272

平成29年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会 長 川 原 善 次 郎 印
 会 計 高 橋 雄 輔 印
 黒 田 美 稚 子 印
 監 査 渡 邊 和 雄 印
 中 里 千 穂 印

貸借対照表

平成29年 3月 31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 資 産 の 部	
現 金	15,136	新 規 事 業 引 当 金	0
三 菱 東 京 U F J 普 通 口	2,346,197	(正 味 資 産 の 部)	
ゆ う ち ょ 銀 行	3,084,889	余 剰 金	5,446,222
合 計	5,446,222	合 計	5,446,222

収支報告書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月 31日

収 入 の 部			
	28年度予算	28年度決算	内 訳
入 会 金	1,620,000	1,530,000	60期 15,000円×102名分
運 営 費	1,000,000	968,000	2,000円×484名分
総 会 収 入	620,000	432,000	8,000円×54名分
預 金 利 息	1,000	29	三 菱 東 京 U F J ゆ う ち ょ 銀 行 普 通 口 座 利 息
そ の 他 収 入	0	0	
寄 付 金	900,000	1,500,000	300名より
講 習 会 費	0	0	
当 期 収 入 合 計	4,141,000	4,430,029	A
前 期 繰 越 収 支 差 額	5,918,564	5,918,564	B
収 入 合 計	10,059,564	10,348,593	A + B
支 出 の 部			
	28年度予算	28年度決算	内 訳
総 会 費	1,700,000	1,651,899	ホ テ ル メ ト ロ ポ リ タ ン エ ド モ ン ド 会 場 費 、 講 師 謝 礼
講 習 会 費	800,000	378,098	実 技 研 修 会 、 母 校 研 修 講 師 謝 礼 、 案 内 発 送
会 報 発 行 費	1,500,000	1,343,556	会 報 第 37号 旭 出 版
通 信 費	700,000	465,780	案 内 状 郵 送 料 (研 修 会 、 役 員 運 営 委 員 会) 、 ハ ガ キ 代 等
印 刷 費	50,000	48,000	封 筒 印 刷 代 旭 出 版
渉 外 費	200,000	140,600	日 本 指 圧 協 会 、 母 校 祝 い 金 等
交 通 費	300,000	257,750	役 員 運 営 委 員 会 交 通 費 他
慶 弔 費	100,000	30,000	指 聖 供 養 塔 生 花 、 物 故 者 へ 香 典
事 務 用 品 費	30,000	19,199	今 井 文 具 店 領 収 書 、 封 筒 等
雑 費	50,000	48,602	役 員 運 営 会 お 茶 代 、 指 の 光 広 告 料 等
情 報 管 理 費	300,000	53,444	名 簿 デ ー タ CD 作 成 、 ホ ー ム ペ ー ジ サ ー バ ー レ ン タ ル 料
役 員 会 議 費	50,000	26,920	総 会 準 備 、 実 技 講 習 会 事 前 打 ち 合 わ せ 等
設 備 使 用 料	36,000	36,000	母 校 へ コ ピ ー 機 、 電 話 等 施 設 利 用 料 として
予 備 費	100,000	0	
新 規 事 業 費	500,000	402,523	ホ ー ム ペ ー ジ 移 設 費 用 、 58期 同 窓 会 長 賞 贈 呈
事 務 活 動 費	250,000	0	講 習 会 ス タ ッ フ 手 当 等
当 期 支 出 合 計	6,666,000	4,902,371	C
当 期 収 支 差 額	-2,525,000	-472,342	A - C
次 年 度 繰 越	3,393,564	5,446,222	A + B - C

平成29年度 通常総会・懇親会

1. と き：平成29年6月11日（日） 14時
2. ところ：ホテルメトロポリタンエドモント
東京都新宿区飯田橋3-10-8
総会・記念講演 3階 春琴
懇親会 1階 クリスタルホール
- 交 通：JR 飯田橋駅東口より徒歩約5分
JR 水道橋駅西口より徒歩約5分
地下鉄有楽町線／南北線 飯田橋駅A2 出口より徒歩約5分
地下鉄東西線 飯田橋駅A5 出口より徒歩約2分
地下鉄都営大江戸線 飯田橋駅出口より徒歩約7分
地下鉄都営三田線 水道橋駅A2 出口より徒歩約8分
3. 内 容：総会（14：00～14：50）
活動報告、会計報告、監査報告、予算案
・記念講演（15：00～16：15）
「指圧師の臨床に生かす、呼吸器リハビリテーションの基礎と実際」
講師 一條 幹史 先生
湘南鎌倉総合病院
リハビリテーション科 呼吸療法部主任 理学療法士
博士（歯学）：神奈川歯科大学
超高齢化社会を迎えたわが国では、呼吸器疾患が重要な臨床分野になりつつあります。呼吸器リハビリテーションの専門家であり、学会発表を数多くされている一條幹史先生を講師に迎え、指圧師が日々の臨床で行える、エビデンスの高い呼吸器リハビリテーションを紹介します。
- ・懇親会（16：30～18：30）
4. 懇親会費：8,000円（当日納金也可）
5. 申 込：会報誌に同封されておりますハガキにて出欠をお知らせください。また、懇親会参加の方は会費8,000円を同封の郵便為替用紙にて事前に納めていただきますと、受け付け事務の混乱が防げますのでご協力を御願ひ致します。

